

2026 年度 （令和 8 年度）
鶴見大学・鶴見大学短期大学部
「学生の学修・生活に関する調査」
集計結果

最終報告

2026 年 9 月

鶴見大学・鶴見大学短期大学部 事務局

1. 本調査の目的

2015（平成 27 年）度より、鶴見大学・鶴見大学短期大学部では、学生の学修や生活に関する実態を把握し、今後の修学指導や教育改革に資する基礎資料を得ることを目的として、学生の学修および生活に関する実態調査を継続的に実施しております。

本調査の集計結果は、本学学生の学修実態や傾向を把握するだけでなく、個々の学習指導に役立てるほか、各関係部署において学生を支援する体制を整えるために利用されます。

調査にご協力いただいた学生の皆さま、誠にありがとうございました。

2. 実施方法

（1）調査対象者

文学部、歯学部、短期大学部 学部生 計 1,901 名

（2）調査方法

学習支援システム manaba にて実施

（3）調査期間

2026 年 3 月 26 日～5 月 31 日

3. 回収結果

対 象		学生数 (人)	回答数 (人)	回答率 (%)
鶴見大学・鶴見大学短期大学部		1,901	1,109	58.3%
(内訳)	文学部	1,076	684	63.6%
	歯学部	397	192	48.4%
	保育科	126	90	71.4%
	歯科衛生科	302	143	47.4%

(学生数：2026 年 3 月 25 日時点)

4. 前回からの変更点および概要

調査項目は毎年見直しを行っていますが、今年度調査にあたっては、2021 年にコロナ禍対応のために追加した設問「Web オープンキャンパス・個別相談に参加された場合、どのような印象をお持ちですか。」を削除しました。

前回調査より回答の対象学年を拡大したことで、学生が身につける 13 の能力への自己評価や、自由記述の設問 62 から 65 については、より多くの意見を集めることが出来ました。学生が鶴見大学・鶴見大学短期大学部に対してどのように感じているのか、大学の将来計画や教育の質向上に対して大いに参考になると考えられます。

5. 調査項目

下記の項目についてアンケート調査を実施しました。

※1～3 の設問を除き、学年・学科を限定している設問があります。

- 1 何年生ですか。
 - 2 性別はどちらですか。
 - 3 学科はどちらですか。
-
- 4 1 日の平均睡眠時間はどのくらいですか。
 - 5 週に何回登校していますか。
 - 6 片道の通学時間を答えて下さい。
 - 7 遅刻や欠席をすることがありますか。
 - 8 朝食は食べていますか。
 - 9 奨学金を受けていますか。
 - 10 一週間あたり、何時間アルバイトをしていますか。
 - 11 現在クラブ・サークル活動（体育会を含む）に加入していますか。
 - 12 現在の健康状態をどのように感じていますか。
 - 13 ストレスを感じていますか。
 - 14 どの入学試験を受けて入学しましたか。
 - 15 本学は第何希望でしたか。
 - 16 オープンキャンパス・体験入学に参加しましたか。
 - 17 本学を知ったきっかけは何ですか。
 - 18 進学先を考えるとときに一番参考にしたものは何ですか。

- 19 本学に入学した理由は何ですか。
- 20 学生生活に期待していることは何ですか。
- 21 高校時代において授業以外で、一週間当たり何時間くらい勉強（予習・復習・課題等）をしましたか。
- 22 高校・塾等でインターネットを用いた遠隔授業を受けた場合、どのような形式がありましたか。
- 23 本学の建学の精神「大覚円成 報恩行持（だいがくえんじょう ほうおんぎょうじ）」及び分かりやすい表現を知っていますか。
- 24 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）について知っていますか。
- 25 キャリア支援課が記念館地下 1 階にあることを知っていますか。
- 26 キャリア支援課が行うどのような支援行事に参加したいですか。
- 27 キャリア支援課が行う支援行事に参加していない場合、その理由は何ですか。
- 28 キャリア支援課で支援行事以外に個別相談を受けてみたいと思いますか。
- 29 卒業後の進路について、不安に感じていることや悩んでいることはありますか。
- 30 自宅で遠隔授業に参加する場合、あなたが自由に使える通信機器等はどれですか。
- 31 自宅で遠隔授業に参加する場合、インターネット回線の利用状況はどれですか。
- 32 一ヶ月に何冊の書籍（タブレット含む）を読みますか。（漫画、雑誌は含まない）
- 33 一ヶ月に何冊の漫画、雑誌（タブレット含む）を読みますか。
- 34 新聞（紙面またはデジタル版）を読んでいますか。
- 35 LINE や facebook、X（旧 Twitter）などの SNS やブログ、インターネットの掲示板を使っていますか。
- 36 大学内で学習をサポートする体制がある場合、どのような支援を受けたいですか。
- 37 授業以外で、一週間当たり何時間くらい勉強（予習・復習・課題等）しますか。
- 38 授業で分からない事柄があった場合、どう対応していますか。
- 39 定期試験の勉強は、いつから始めていますか。
- 40 試験勉強はどこでしていますか。
- 41 授業時間以外は大学のどの場所で過ごしていますか。
- 42 困っていることはありますか。
- 43 相談事は誰にしますか。（したいですか。）
- 44 本学に満足していますか。

- 45 本学受験にあたり、本学提供の SNS 等で役に立ったものをすべて選んでください。
- 46 大学からの情報発信はどのように行ってほしいですか。
- 47 「1 つのものごとを複数の視点から考える力」は身につけていると思いますか。
- 48 「自分の役割ややるべきことを認識する力」は身につけていると思いますか。
- 49 「自他分け隔てなく思いやる心」は身につけていると思いますか。
- 50 「意見の違いや立場の違いを理解する力」は身につけていると思いますか。
- 51 「自分の意見を分かりやすく伝える力」は身につけていると思いますか。
- 52 「相手の意見を丁寧に聞く力」は身につけていると思いますか。
- 53 「物事に進んで取り組む力」は身につけていると思いますか。
- 54 「目標を設定して確実に行動する力」は身につけていると思いますか。
- 55 「学び続ける気持ちと姿勢」は身につけていると思いますか。
- 56 「専門的な知識・技能を実践に活かす力」は身につけていると思いますか。
- 57 「他人に働きかけ巻き込む力」は身につけていると思いますか。
- 58 「現状を分析し目的や課題を明らかにする力」は身につけていると思いますか。
- 59 「課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力」は身につけていると思いますか。
- 60 教員の「オフィスアワー」を利用した経験がある場合、この制度は役に立ちましたか。
- 61 授業以外で、教員に質問したり、勉強の仕方を相談する機会がある場合、役に立ちましたか。（上記のオフィスアワーを除く）
- 62 鶴見大学を一言で表現するとどうなりますか。
- 63 鶴見大学を後輩に勧めたいポイントはどこですか。
- 64 鶴見大学に足りないものはなんですか。
- 65 本学の他に検討した進学先を教えてください。

6. アンケート結果

11 年目を迎える全学共通のアンケート調査となりましたが、今回も学生の皆様に協力いただいたことに改めて御礼を申し上げます。

次ページより集計結果を掲載しておりますので、ご自身の回答と比較して学修・生活スタイルの振り返りにお役立てください。

大学生の学修や生活に関する調査については、省庁をはじめ、様々な教育機関で行われています。興味のある方は検索してみてください。

また、学修面のほか、生活・健康・就職関係等、気になることがございましたら、身近にいる教職員にお気軽にご相談ください。

【相談窓口】

学生生活、奨学金に関すること	学生支援事務部学生支援課
学修に関すること	担任教員、各教科教員、教務事務部教務課
健康に関すること	保健センター事務室
就職に関すること	学生支援事務部キャリア支援課
図書館に関すること	図書館（カウンター）
本調査に関すること	総務部総合企画課

【自分の回答を確認するには】

終了したアンケートについて、manaba にログインして自分の回答を確認できます。

- ①「ポートフォリオ」を選択します。
- ②「マイポートフォリオ」から「所属学部●年生（学生アンケート用）」クラスを選び、提出済みのアンケートのタイトルをクリックする。
（提出していない場合は表示されません。）

鶴見大学・鶴見大学短期大学部
Tsutsumi University & Tsutsumi Junior College

設定 | ログアウト

マイページ | コース | ポートフォリオ | respon | メモ一覧 | English

マイポートフォリオ

2024年度

文学部1年生(学生アンケート用) 文学部教務課

2026年度 学修・学生生活に関する調査 2026-xx-xx 00:00

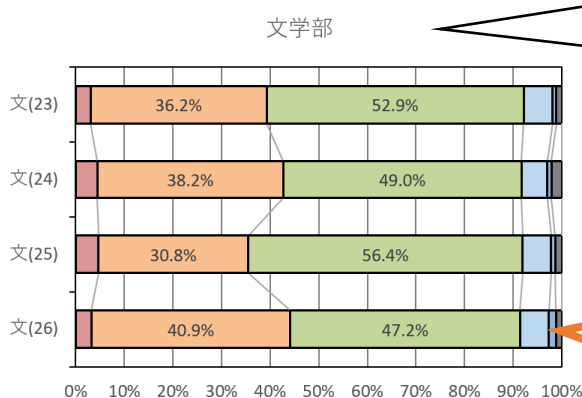
クリックすると回答済みの内容が表示されます。
（提出した場合）

7. グラフの見方

①	4時間未満
②	4時間以上6時間未満
③	6時間以上8時間未満
④	8時間以上10時間未満
⑤	10時間以上
⑥	回答しない

設問の選択肢と、対応する色を表示しています。

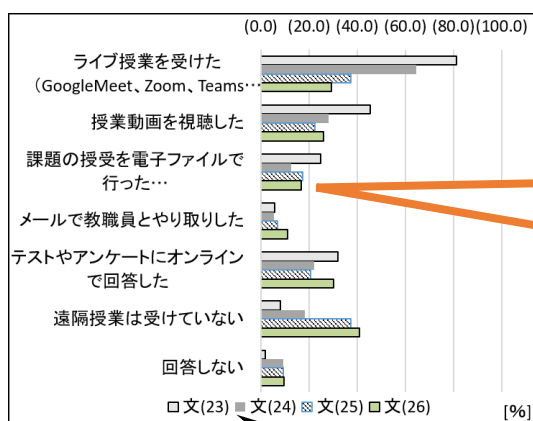
【単一選択の場合】



学部毎の過去 4 年間の回答状況をグラフで示しています。
(一部該当外あり。)

今年度の数値は一番下の段になります。
自分の回答が、学部でのどのくらいの割合に該当するか確認できます。

【複数選択の場合】



今年度は色付きの部分になります。
自分の回答が、学部でのどのくらいの割合に該当するか確認できます。

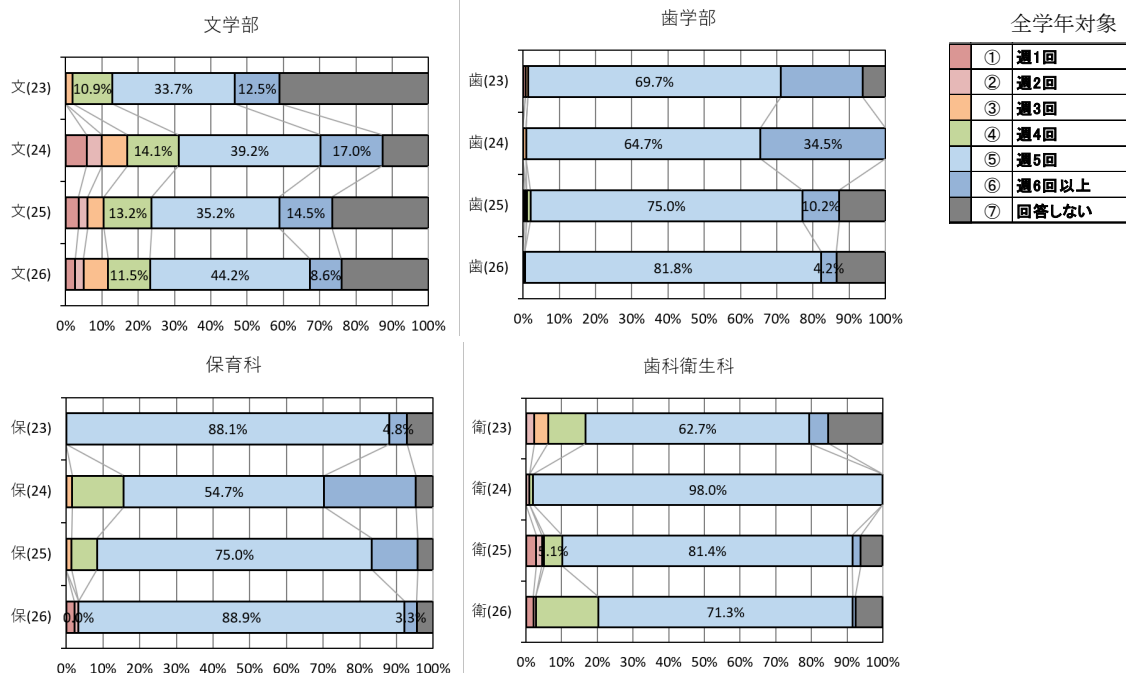
学部毎の回答状況を棒グラフで示しています。
過去 4 年間（色付き、斜線、灰色、白抜き）で比較できます。

【Q4】1日の平均睡眠時間はどのくらいですか。



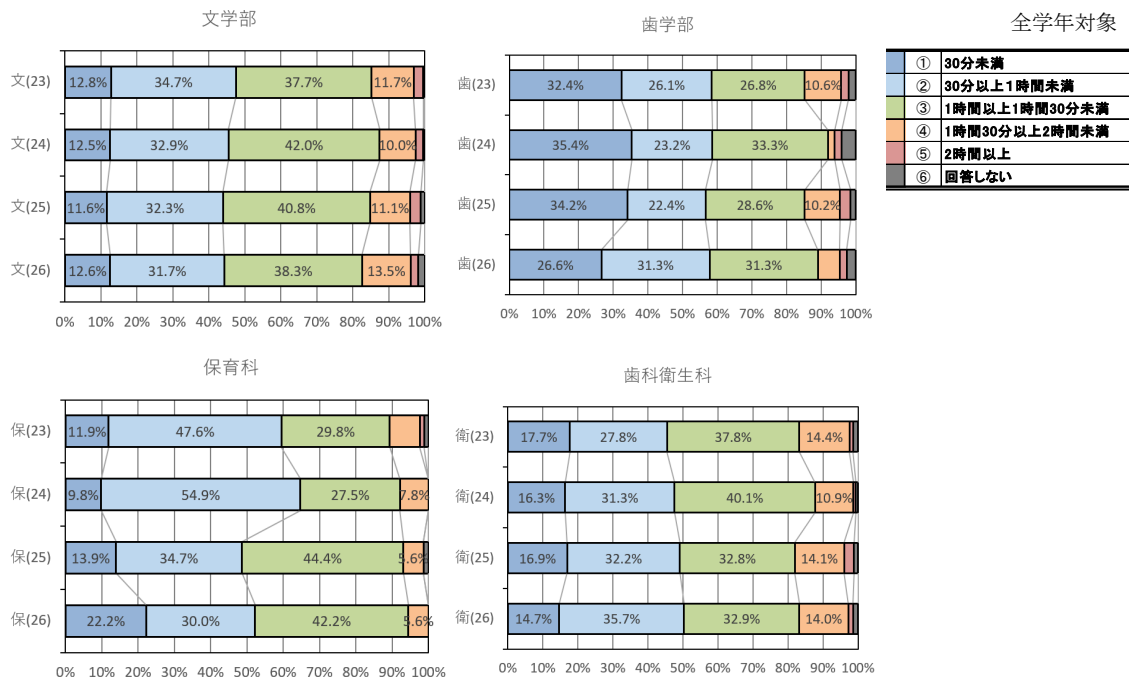
前回調査より設問の対象を1・3・5年生から全学年に変更した。歯学部と保育科で「6時間以上8時間未満」が増加傾向にあり、文学部と歯科衛生科では前年と比較して平均睡眠時間が短くなる傾向となった。

【Q5】週に何回登校していますか。



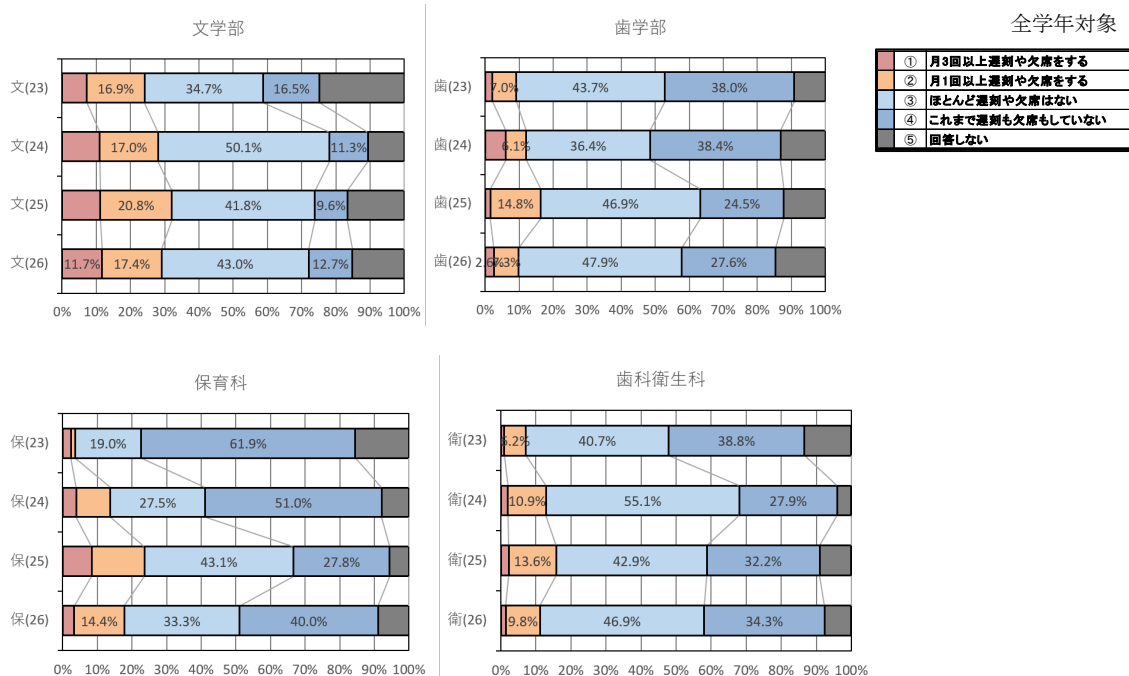
前回調査より設問の対象を1・3・5年生から全学年に変更したため、2025年度と2026年度の割合は同様になると予想されたが、歯学部・保育科・歯科衛生科では変化が見られた。しかし、いずれも登校回数は全学部・学科で週5回が多い。

【Q6】片道の通学時間を教えてください。



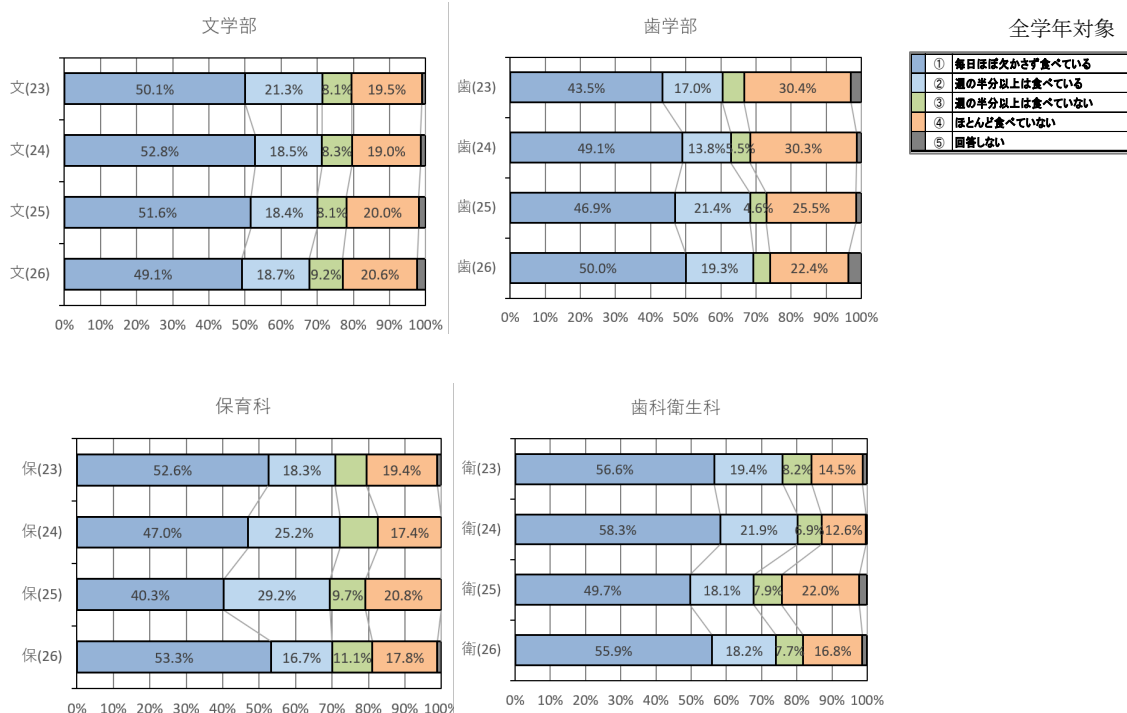
前回調査から回答対象を1・3・5年生から全学年へ変更したものの、経年比較における顕著な変化は見られない。いずれの学部・学科においても片道の通学時間が1時間半未満の学生が8割以上を占めている。

【Q7】遅刻や欠席をすることがありますか。



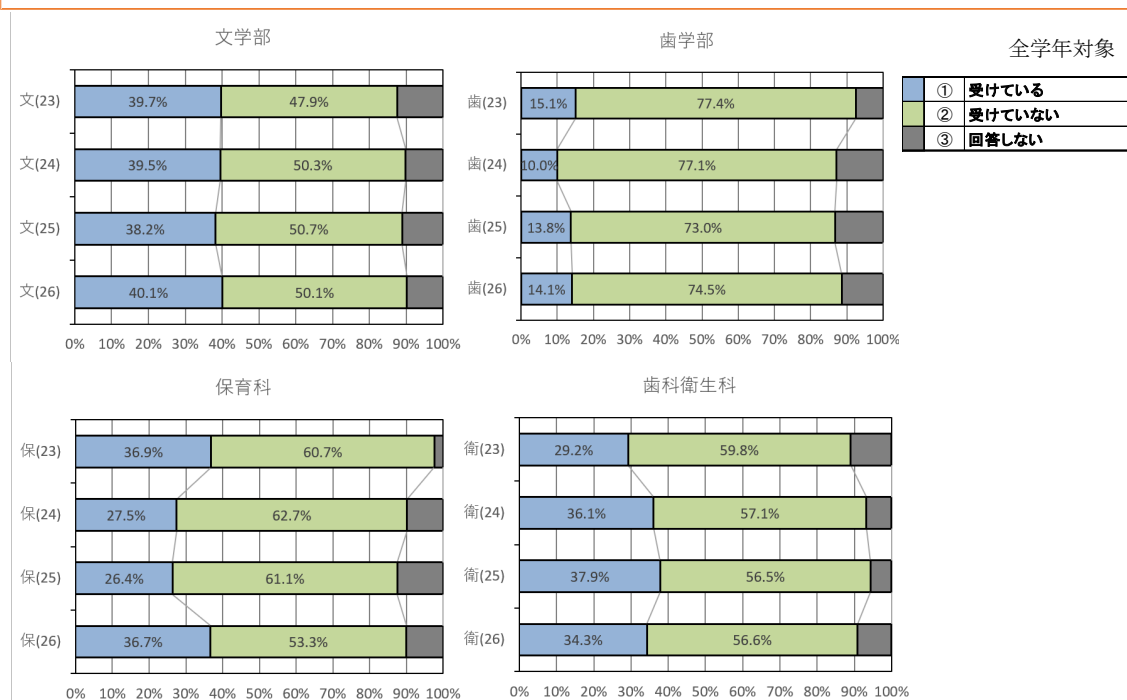
前回調査から対象を1・3・5年生から全学年へ変更したことで、月の回数に関わらず遅刻や欠席をする割合が全学部・学科で増加傾向にあったが、今回は「これまで遅刻も欠席もしていない」割合が増える結果となった。

【Q8】朝食は食べていますか。



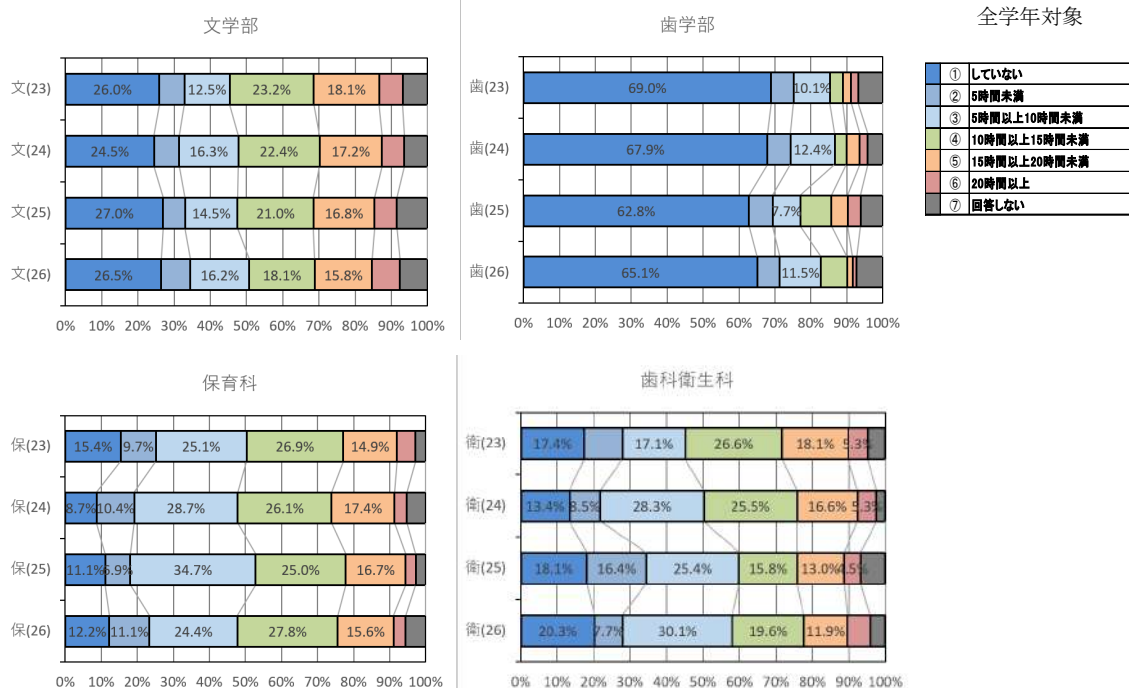
前回調査より設問の対象を1・3・5年生から全学年へ変更した。文学部を除いて「毎日ほぼ欠かさず食べている」割合が増加した。今年度も父母会の援助による「100 円 de 朝ごはん」を大学食堂で実施しているため、学生への周知と利用を促進していきたい。

【Q9】奨学金を受けていますか。



奨学金を受給している学生は歯学部を除いて3～4割であるが、保育科においては増加傾向にあった。

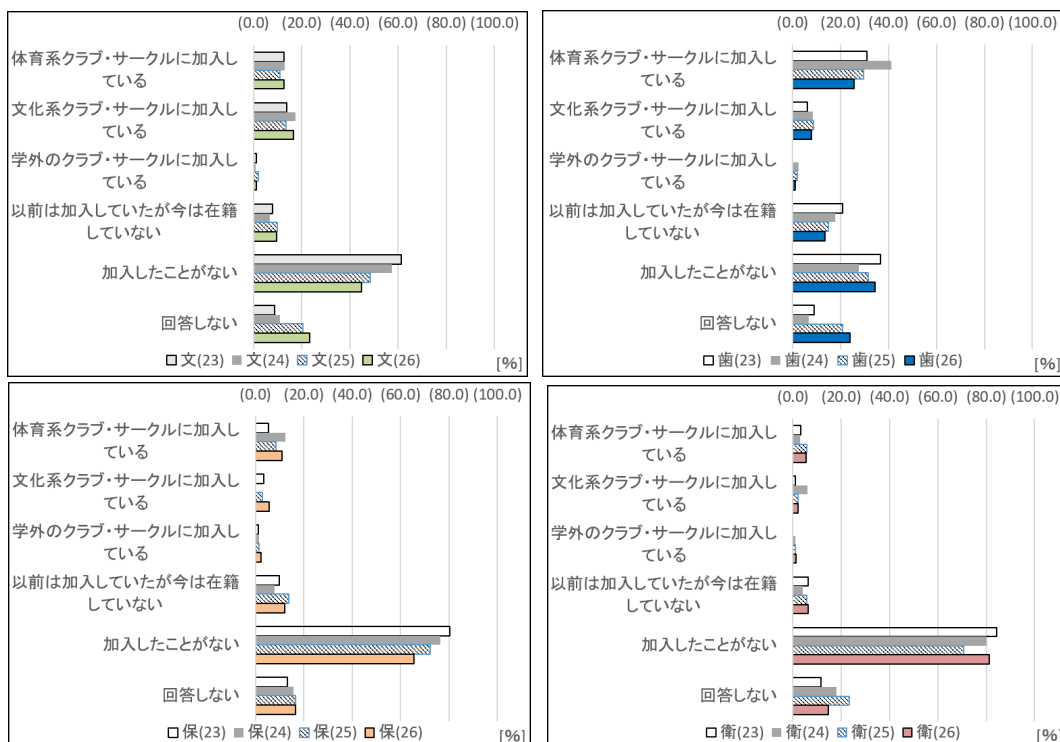
【Q 1 0】一週間あたり、何時間アルバイトをしていますか。



アルバイト時間数の分布については学部ごとに異なるが、「していない」は歯学部が突出して高い結果となった。

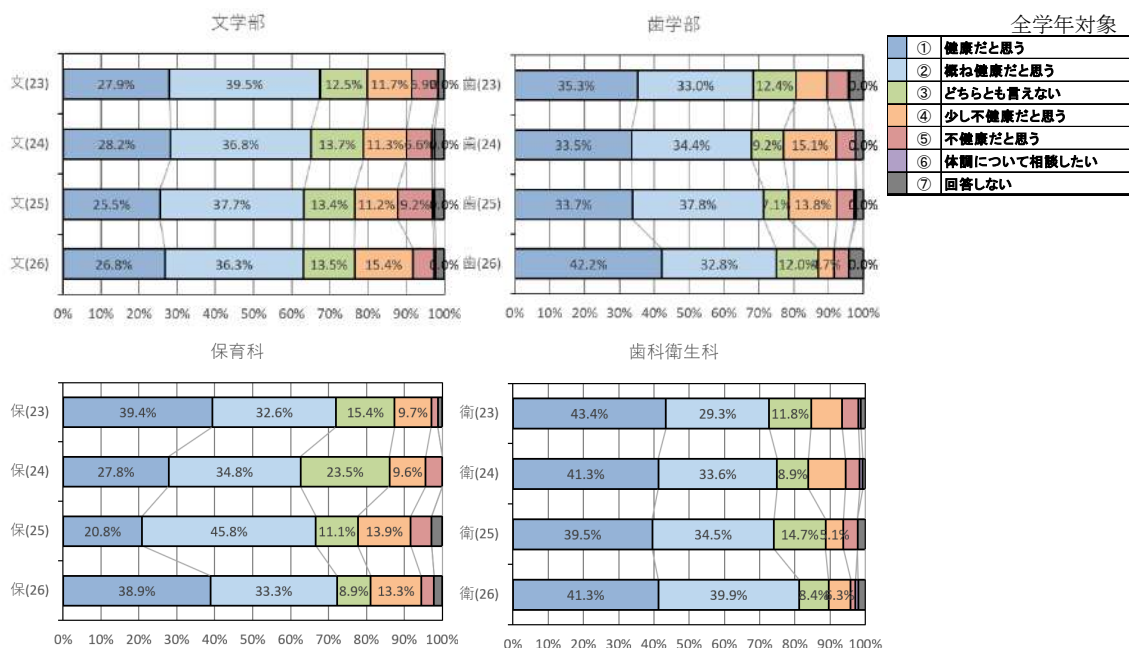
【Q 1 1】現在クラブ・サークル活動（体育会を含む）に加入していますか。（複数選択可）

全学年対象



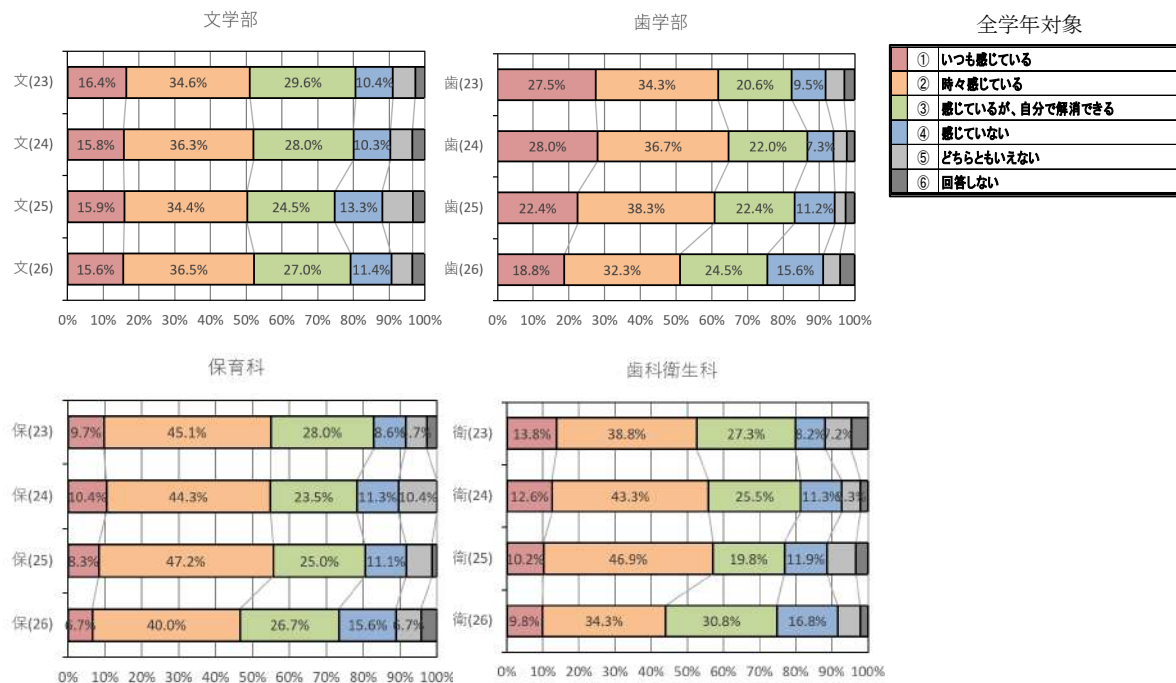
文学部・保育科・歯科衛生科は前回と比較してクラブ・サークル加入者が増加した。

【Q 1 2】現在の健康状態をどのように感じていますか。



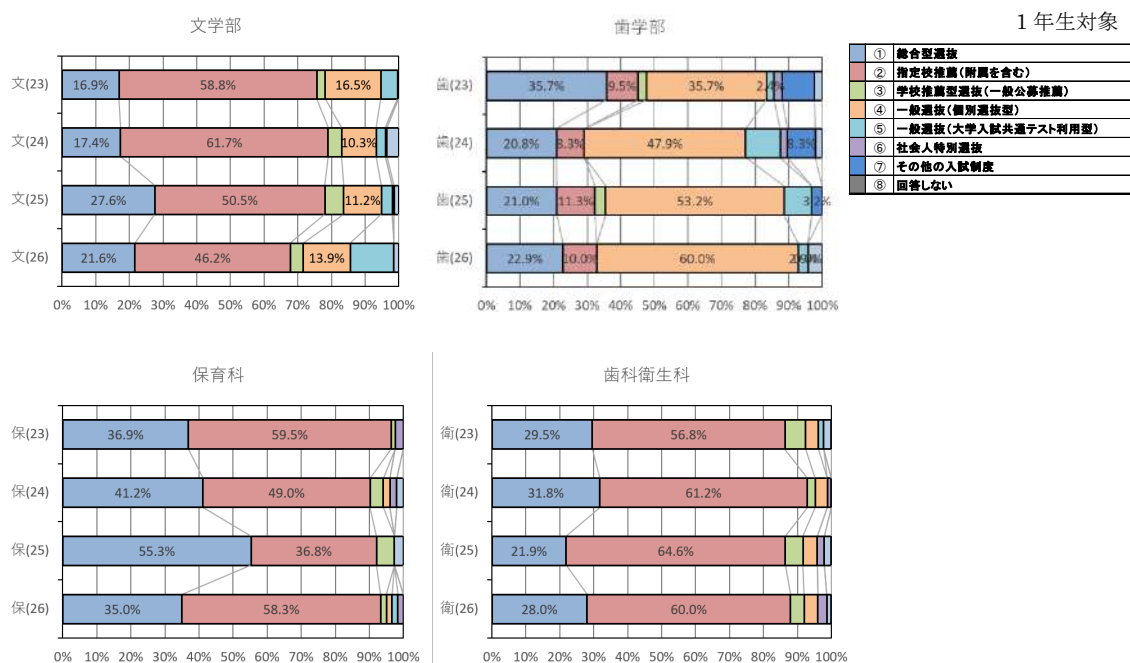
全学部・学科において「健康だと思う」が増加した一方、文学部では「少し不健康だと思う」も増加した。

【Q 1 3】ストレスを感じていますか。



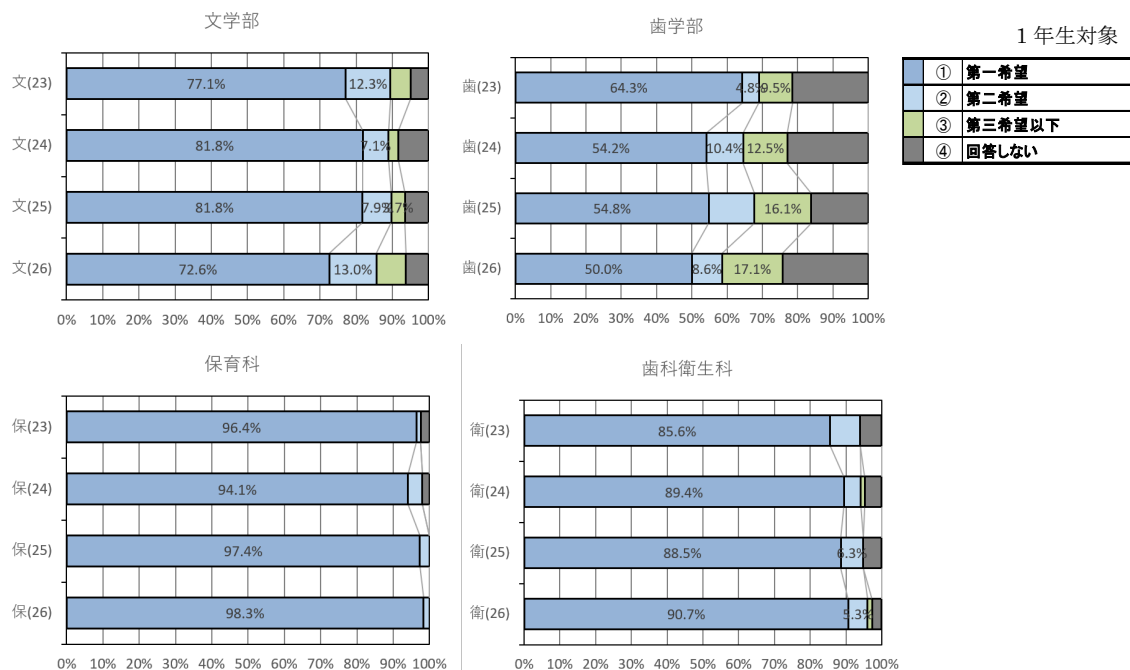
全学部・学科において「いつも感じている」の割合が減少し、「感じているが、自分で解決できる」が増加した。

【Q 1 4】どの入学試験を受けて入学しましたか。



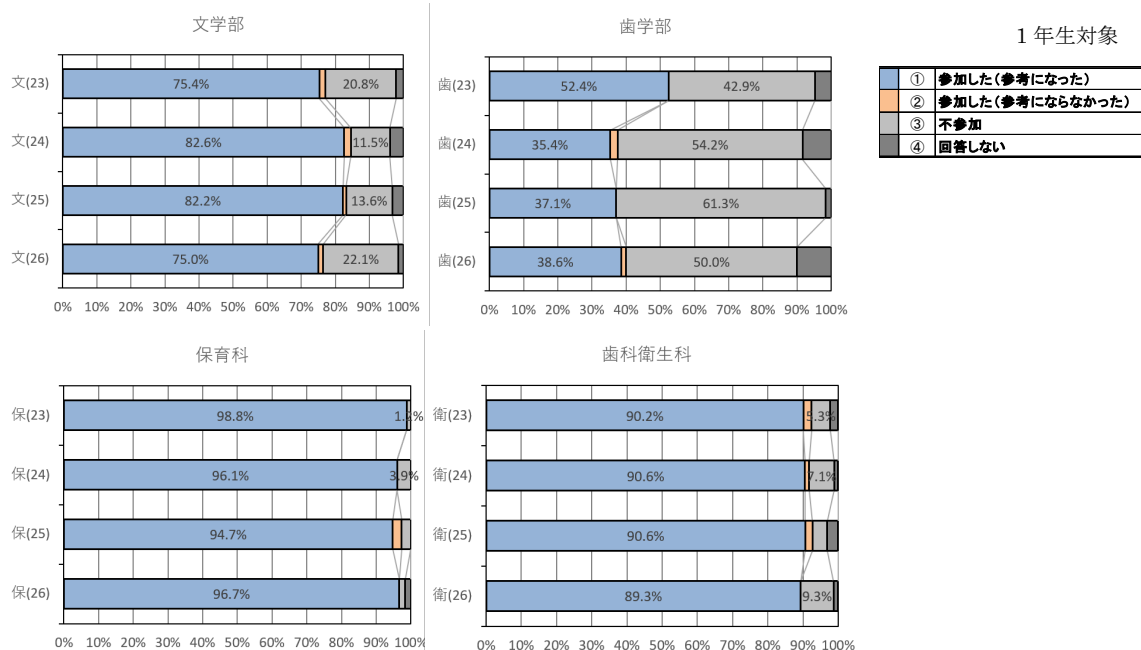
歯学部・歯科衛生科では「総合型選抜」が増加したが、文学部・保育科ではその逆の結果となった。保育科では「指定校推薦（附属を含む）」が増加した。

【Q 1 5】本学は第何希望でしたか。



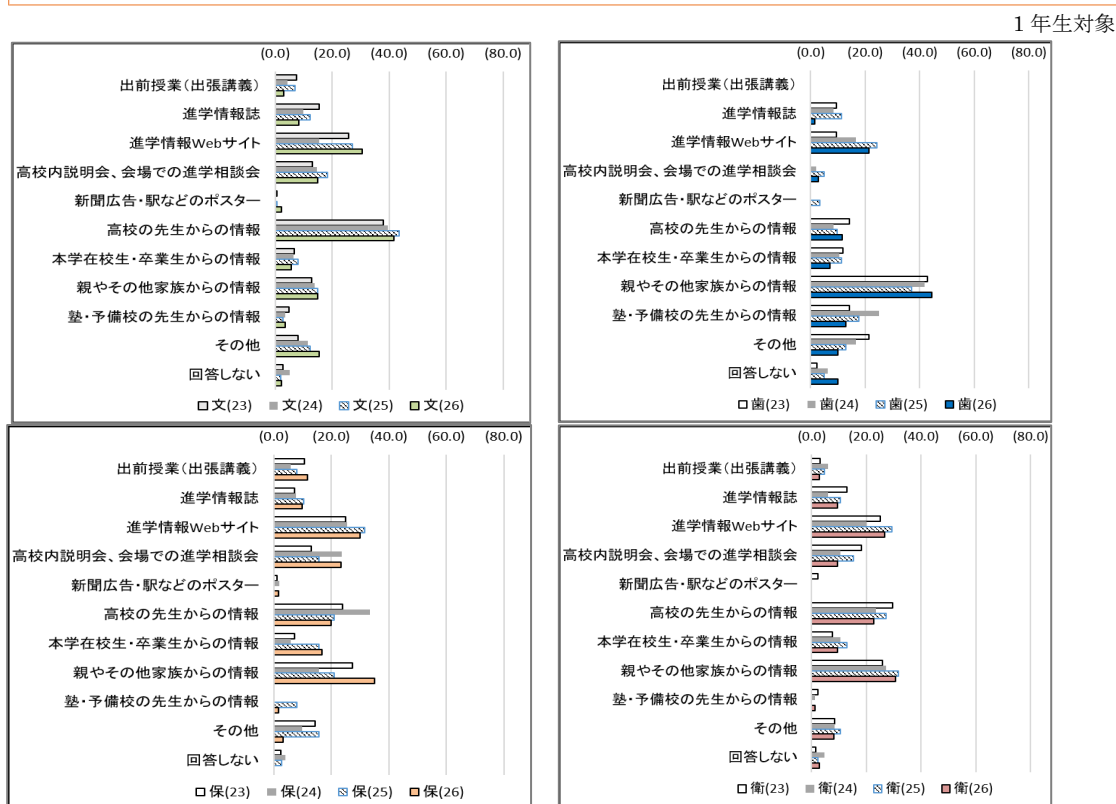
保育科・歯科衛生科では「第一希望」の割合が大半を占めたが、文学部・歯学部ではばらつきが見られる。

【Q16】オープンキャンパス・体験入学に参加しましたか。



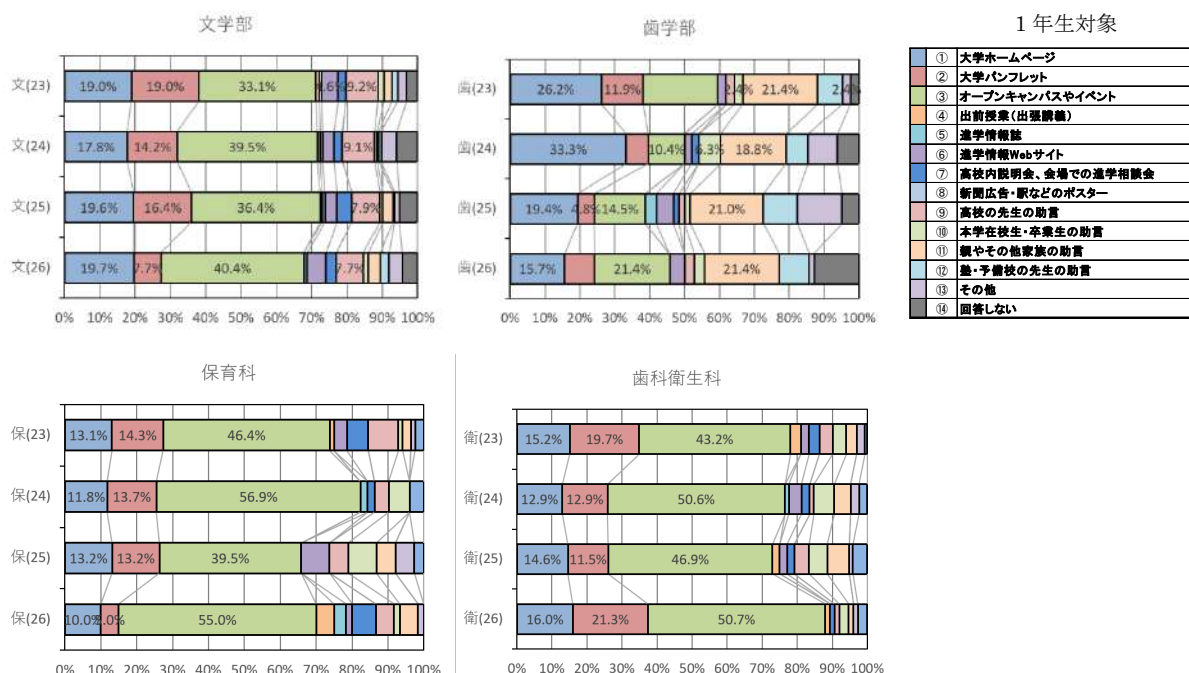
歯学部において、「不参加」の割合が減少傾向にあった。

【Q17】本学を知ったきっかけは何ですか。（複数選択可）



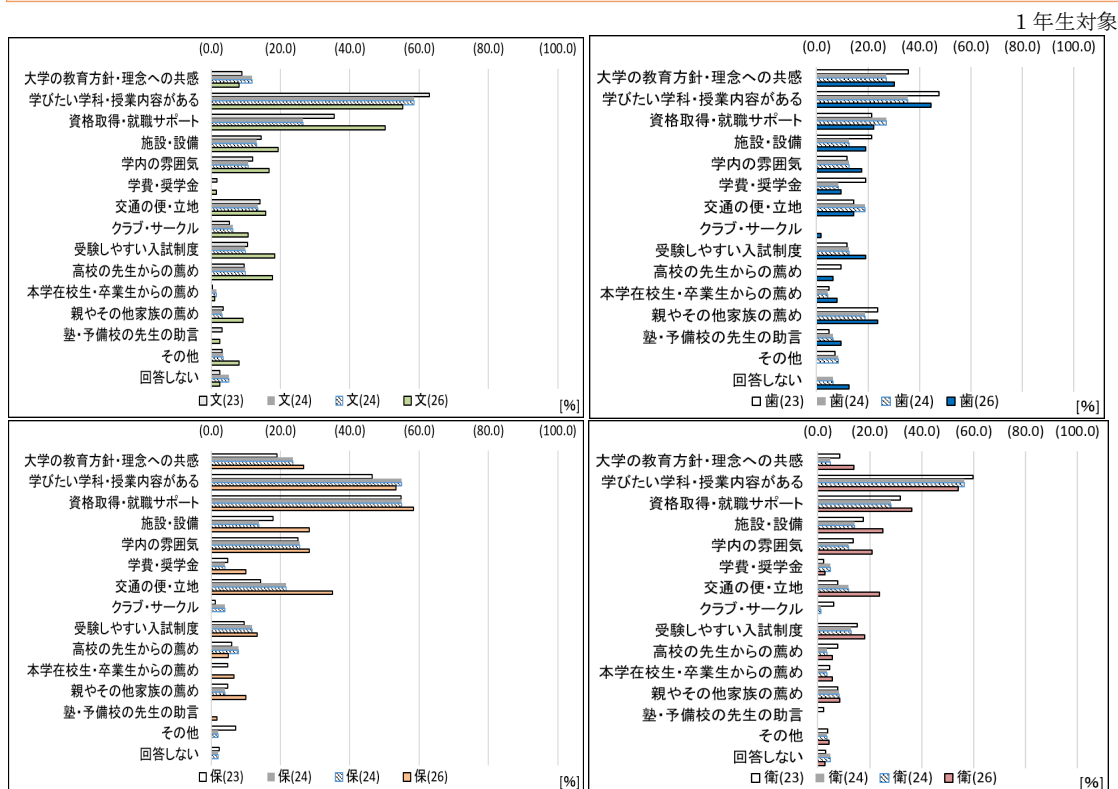
全学部・学科において「親やその他家族からの情報」「高校の先生からの情報」「進学情報 Web サイト」等が上位を占める。このことから、周囲からの助言や勧めをきっかけに本学を認知するケースが多いことがうかがえる。

【Q 1 8】進学先を考えるとときに一番参考にしたものは何ですか。



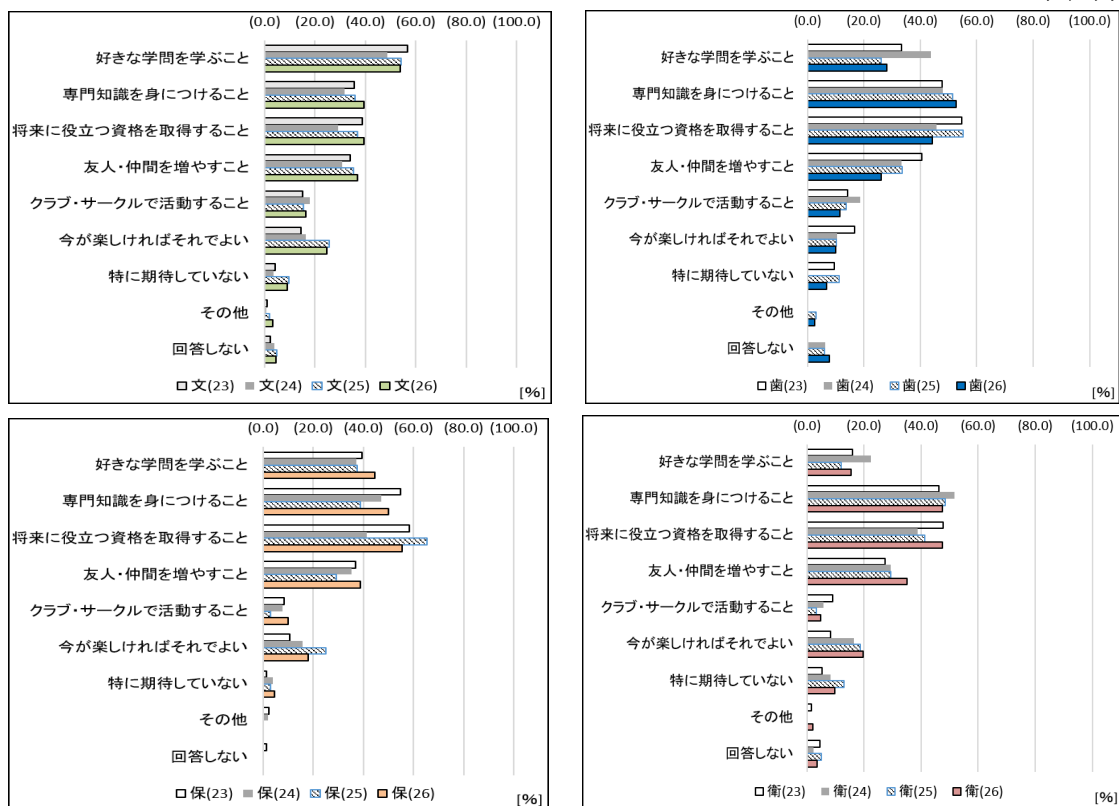
全学部・学科において「オープンキャンパスやイベント」が増加傾向にあった。一方、「大学パンフレット」の回答割合は、文学部・保育科では減少したもの、歯学部・歯科衛生科では増加に転じており、対照的な傾向となった。

【Q 1 9】本学に入学した理由は何ですか。（複数選択可）



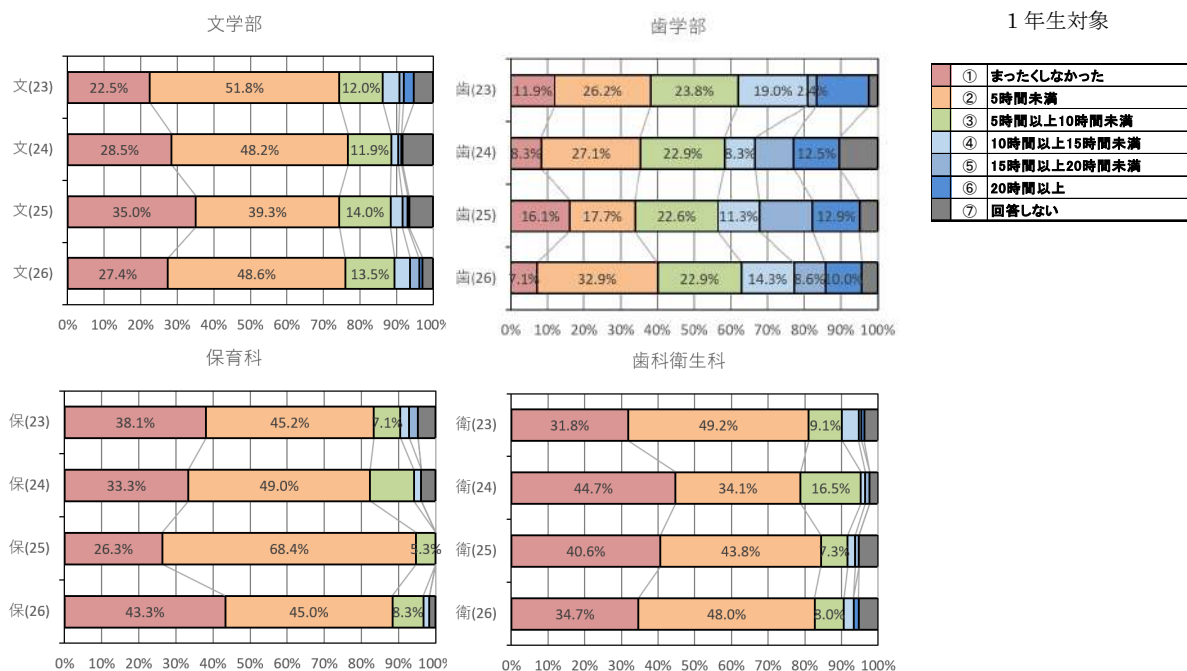
【Q20】 学生生活に期待していることは何ですか。（複数選択可）

全学年対象



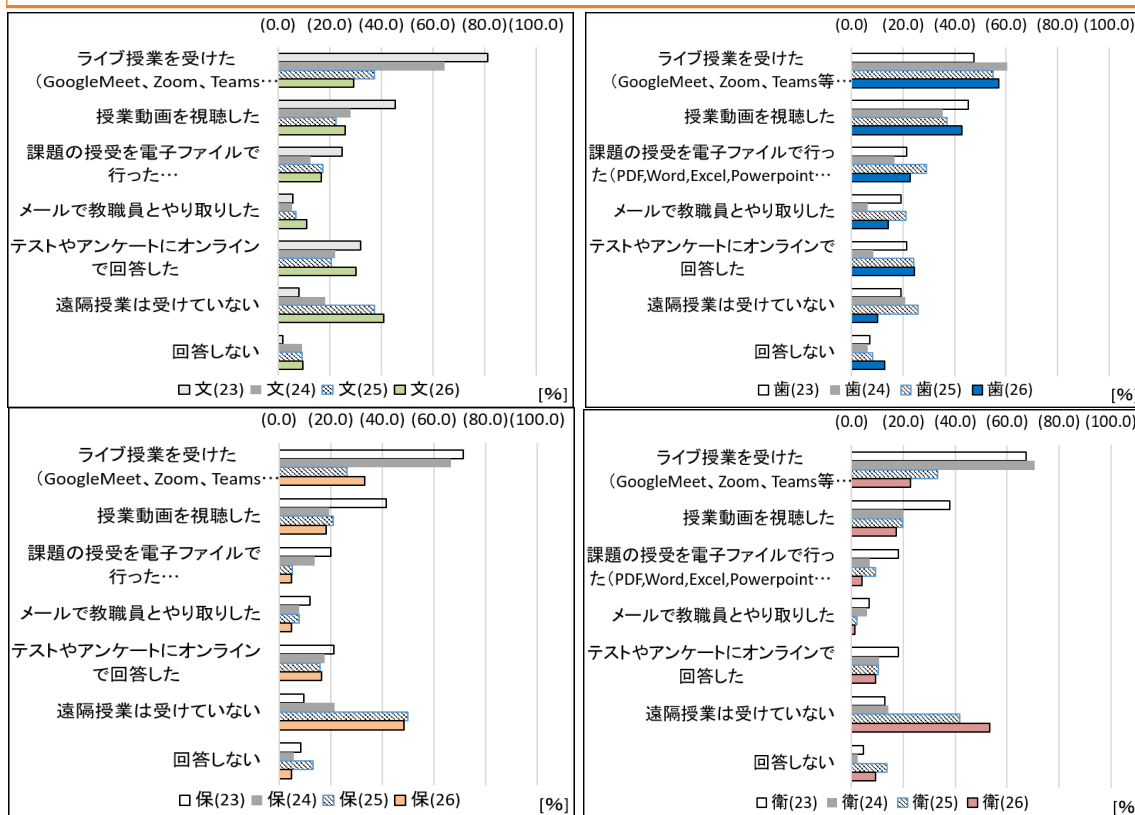
【Q21】

高校時代において授業以外で、一週間当たり何時間くらい勉強（予習・復習・課題等）をしましたか。



【Q22】高校・塾等でインターネットを用いた遠隔授業を受けた場合、
どのような形式がありましたか。（複数選択可）

1 年生対象

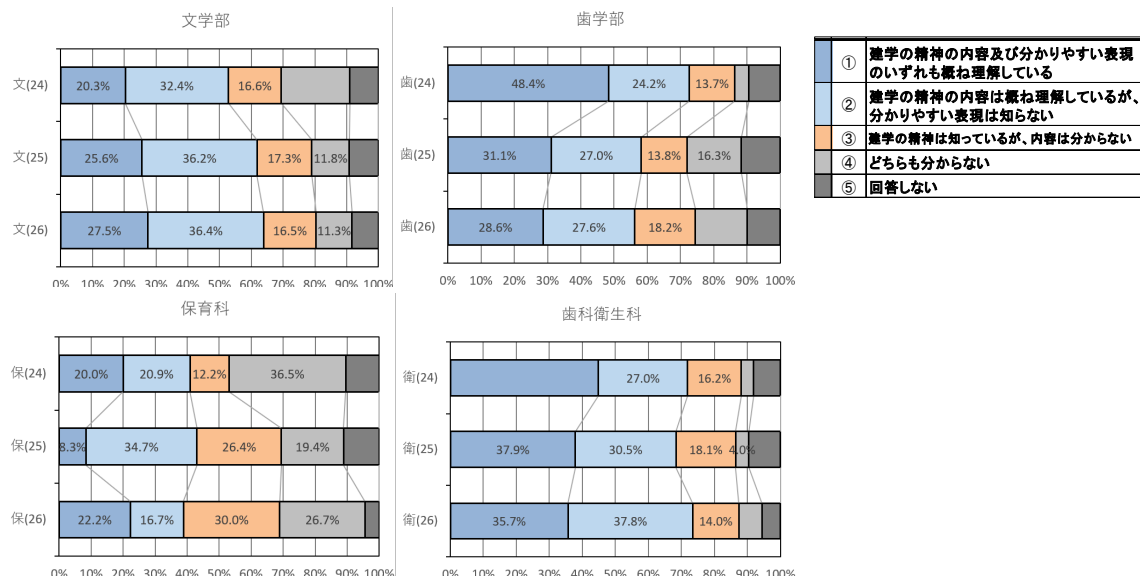


文学部・保育科・歯科衛生科では、4 年間の経年比較において、前半 2 年間で直近 2 年間に境に、ライブ授業や遠隔授業についてのデータの推移に大きな変化が見られた。

【Q23】本学の建学の精神「大覚円成 報恩行持（だいがくえんじょう ほうおんぎょうじ）」及び分かりやすい表現を知っていますか。

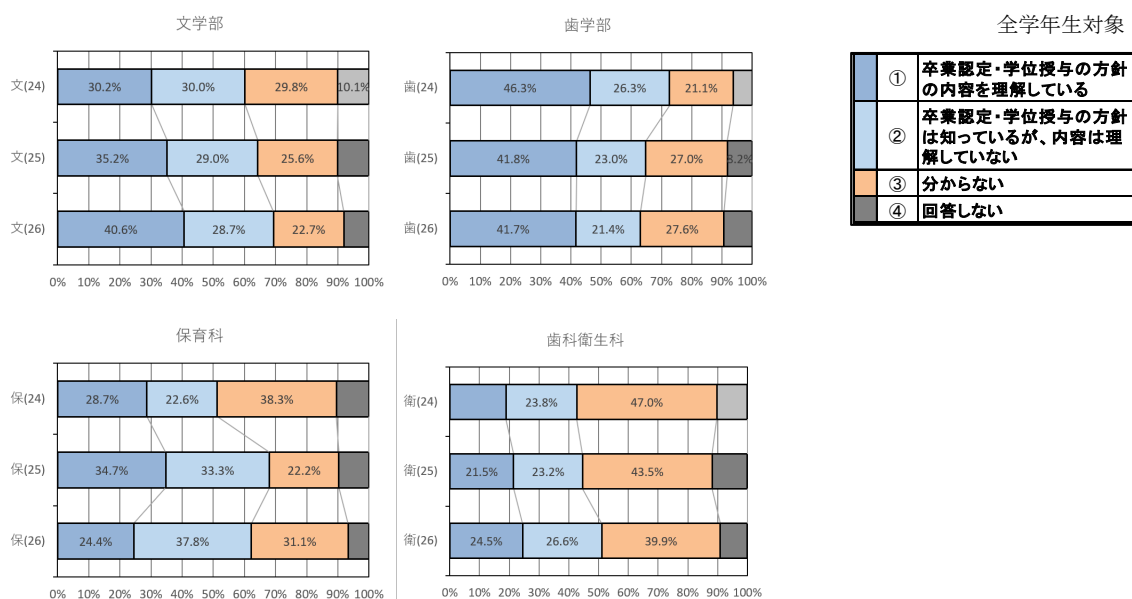
全学年生対象

※（分かりやすい表現：「感謝を忘れず 真人となる」「感謝のこころ 育んで いのち輝く 人となる」）



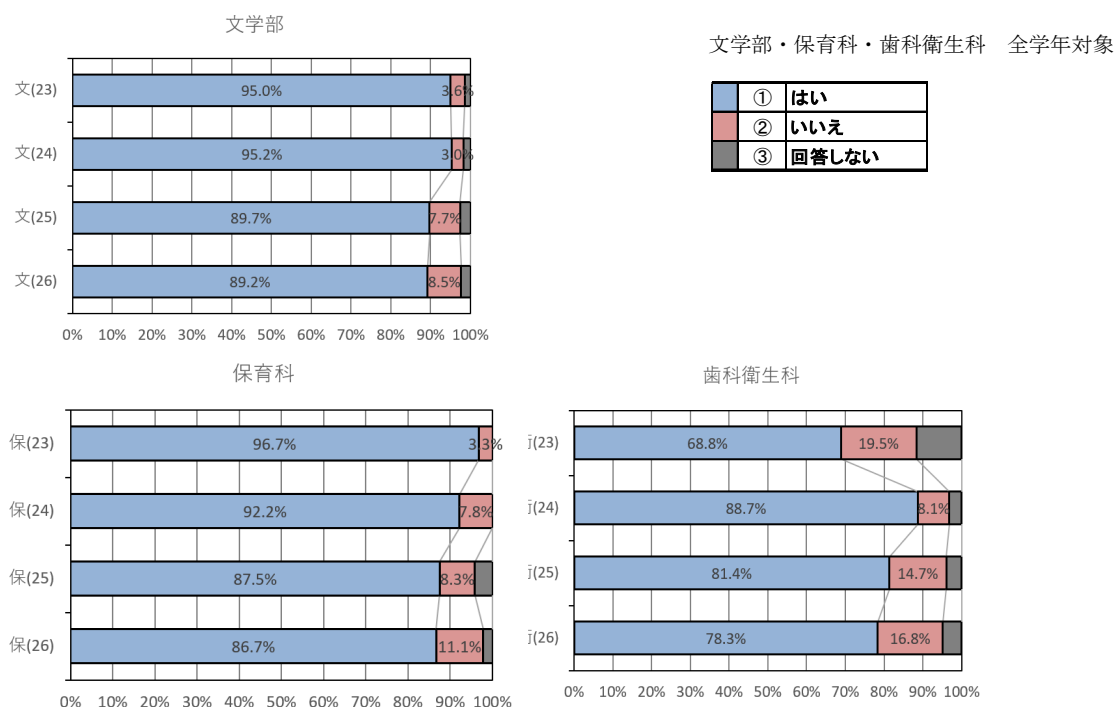
前回調査から対象を全学年へ拡大した。保育科の回答内容に大きな変化が見られた。

【Q 2 4】卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）について知っていますか。



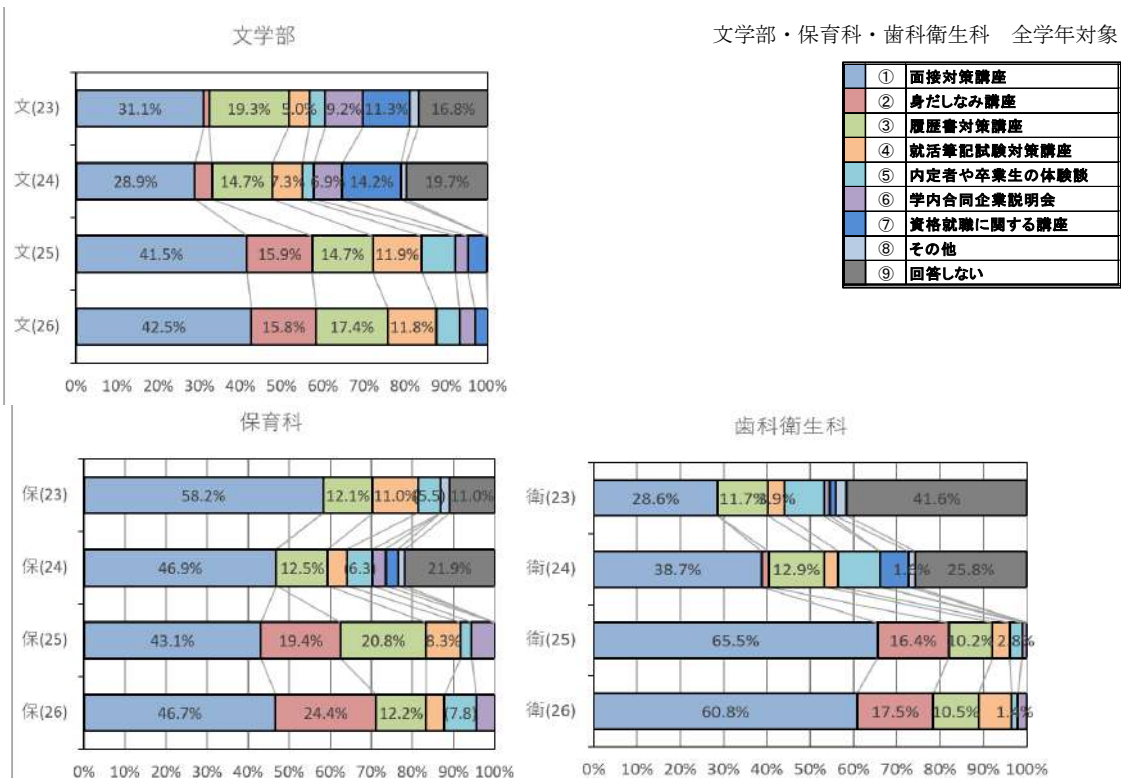
前回調査から対象を 1・2 年生から全学年へ拡大したものの、全体の認知度に大きな変化は見られなかった。

【Q 2 5】キャリア支援課が記念館地下 1 階にあることを知っていますか。



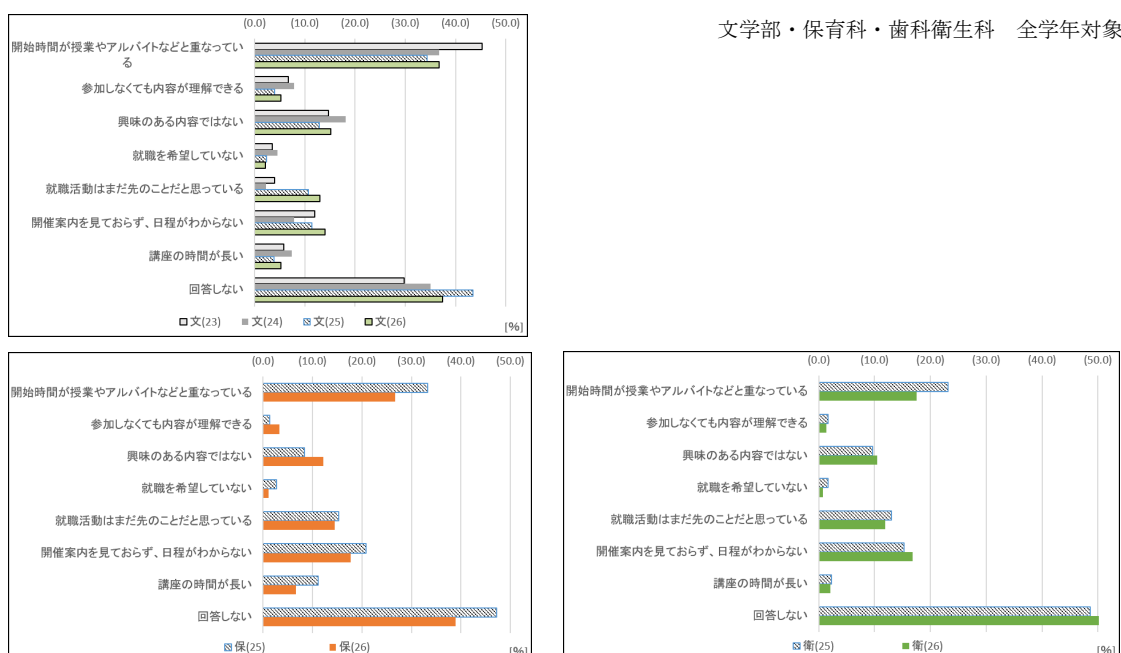
キャリア支援課が記念館地下 1 階にあることの認知度が、前回よりも低下する結果となった。

【Q26】キャリア支援課が行うどのような支援行事に参加したいですか。（複数選択可）

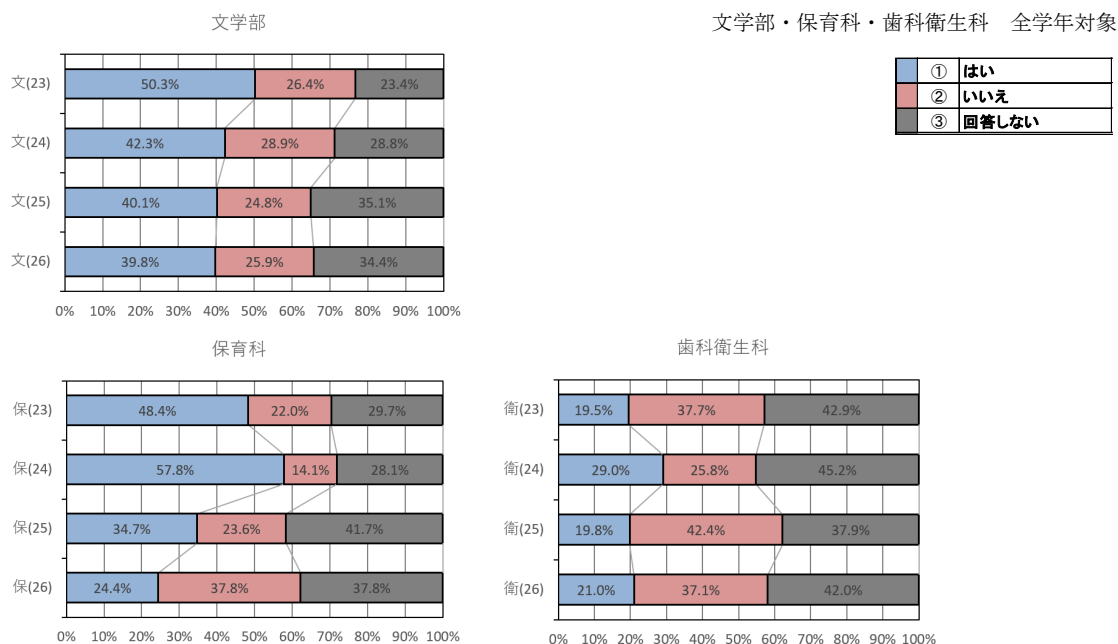


前回調査から対象を文学部・保育科・歯科衛生科の全学年に拡大した。「面接対策講座」に次いで「身だしなみ講座」を希望する学生が増加傾向にあった。

【Q27】キャリア支援課が行う支援行事に参加していない場合、その理由は何ですか。（複数選択可）

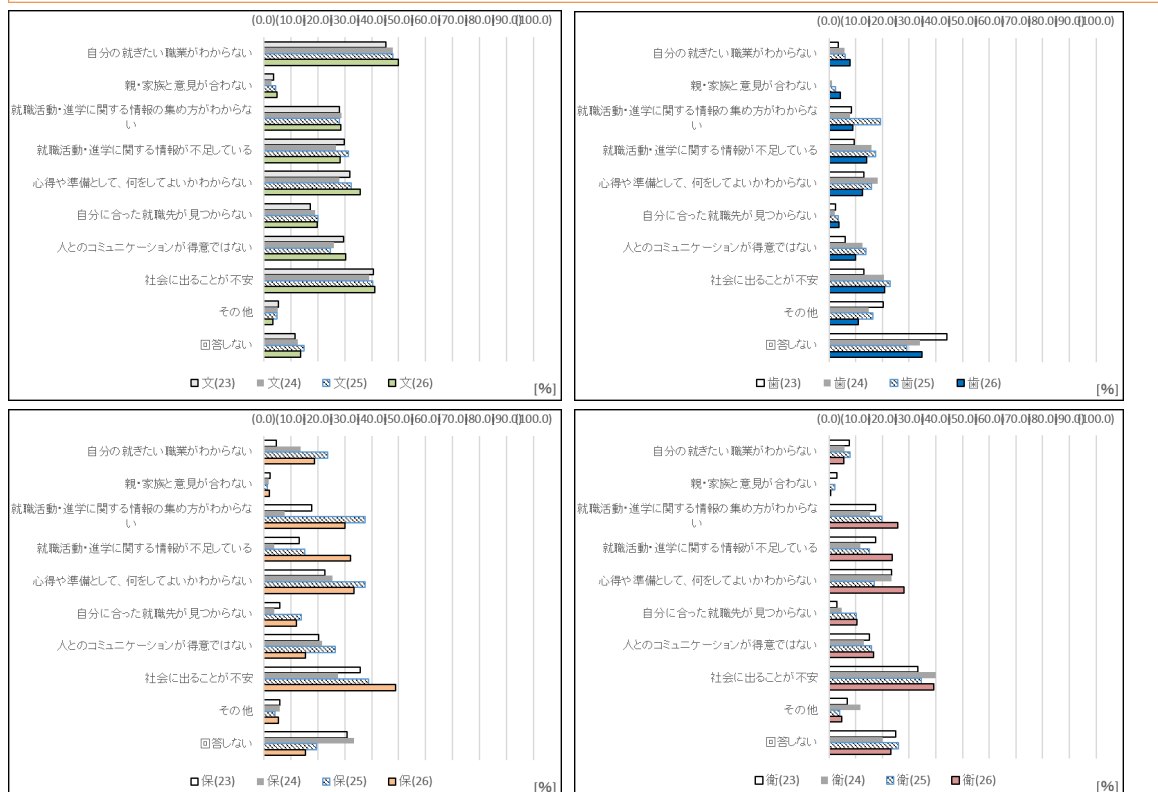


【Q28】キャリア支援課で支援行事以外に個別相談を受けてみたいと思いますか。



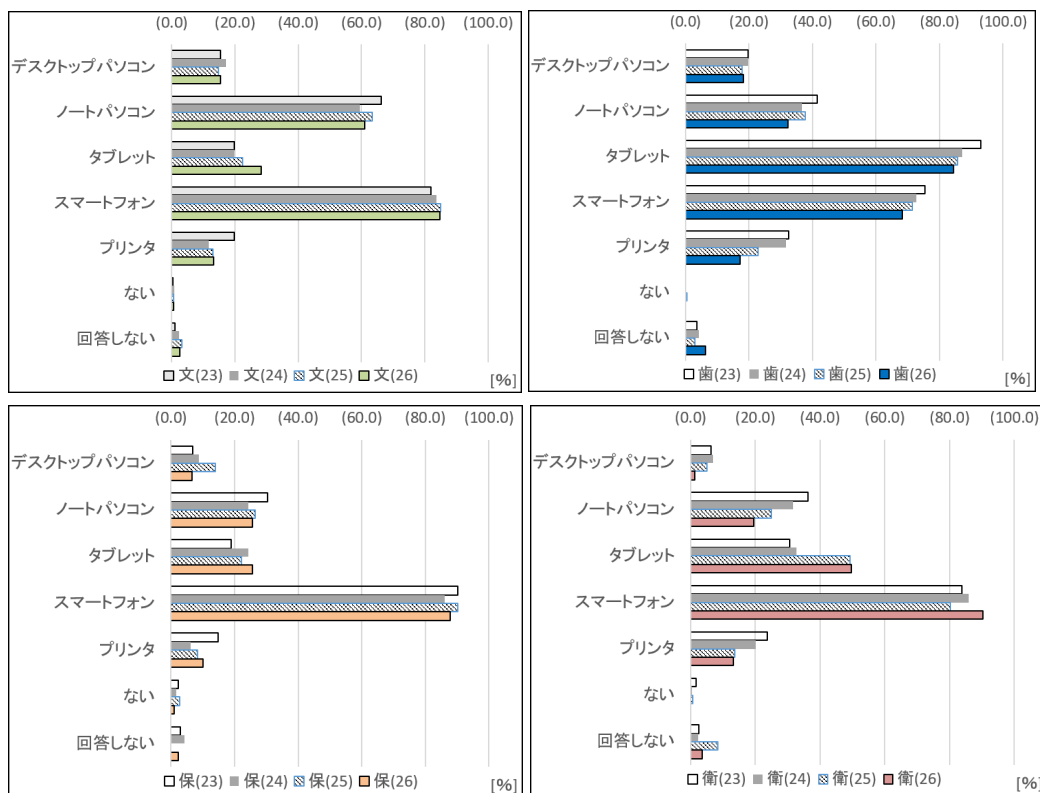
前回調査から対象を文学部・保育科・歯科衛生科の全学年に拡大した。個別相談の希望は一部増加傾向となった。

【Q29】卒業後の進路について、不安に感じていることや悩んでいることはありますか。
(複数選択可)



【Q3 0】自宅で遠隔授業に参加する場合、あなたが自由に使える通信機器等はどれですか。
(複数選択可)

全学年対象

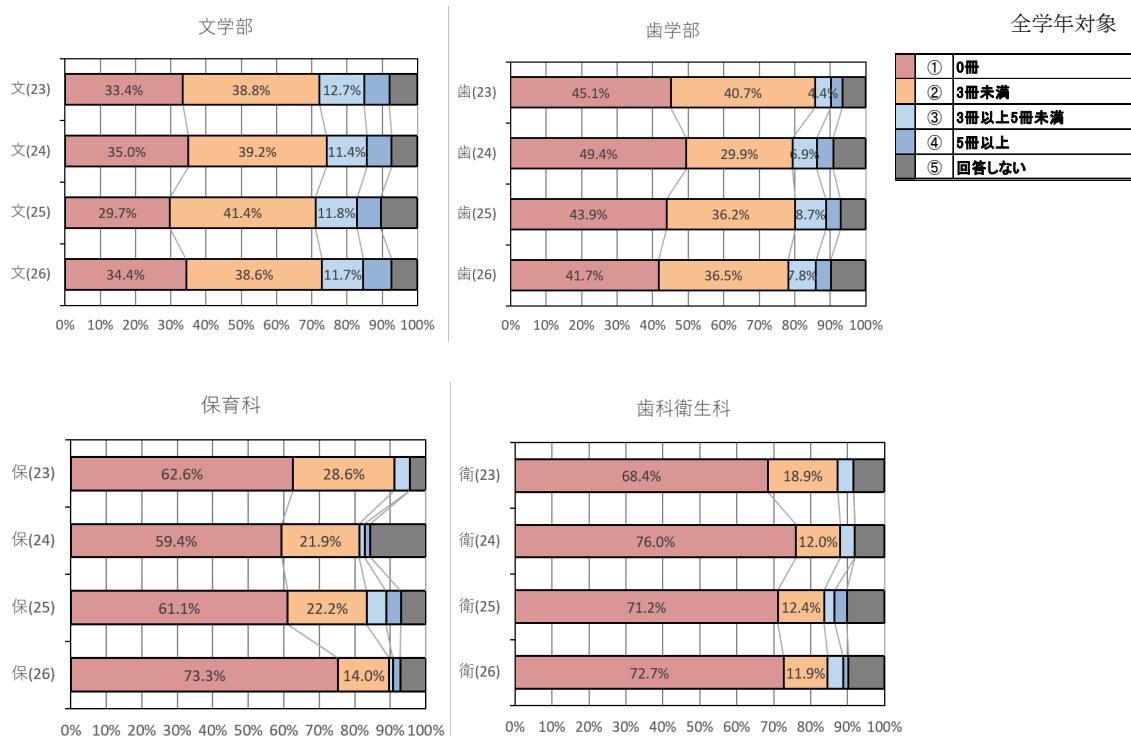


【Q3 1】自宅で遠隔授業に参加する場合、インターネット回線の利用状況はどれですか。
(複数選択可)

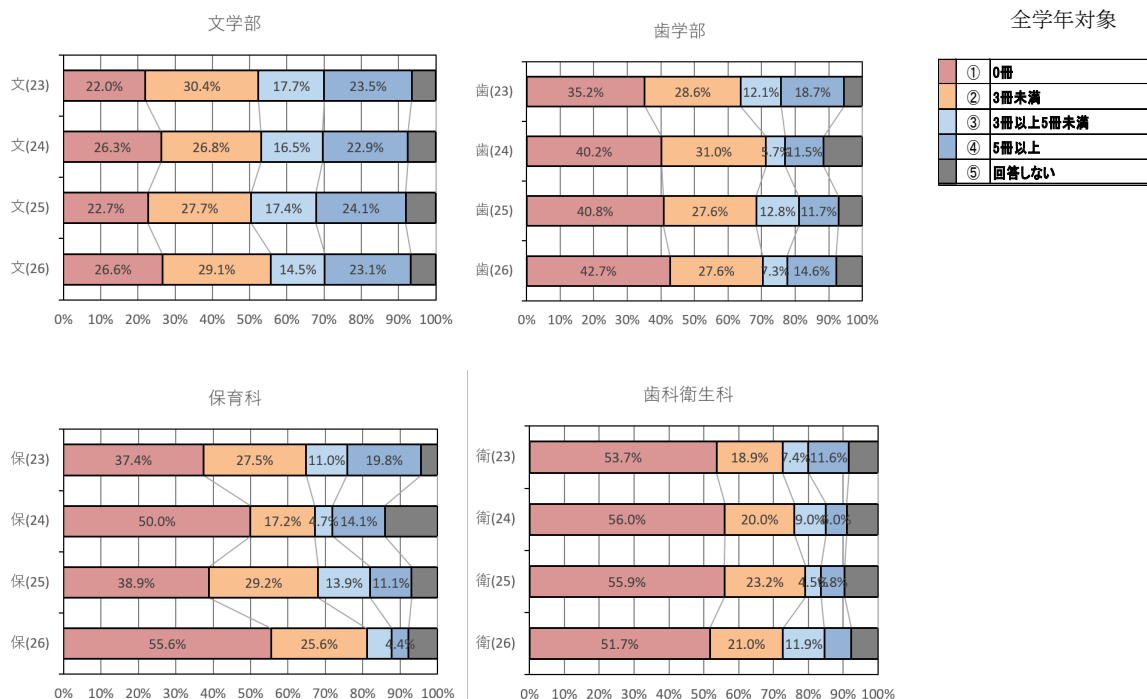
全学年対象



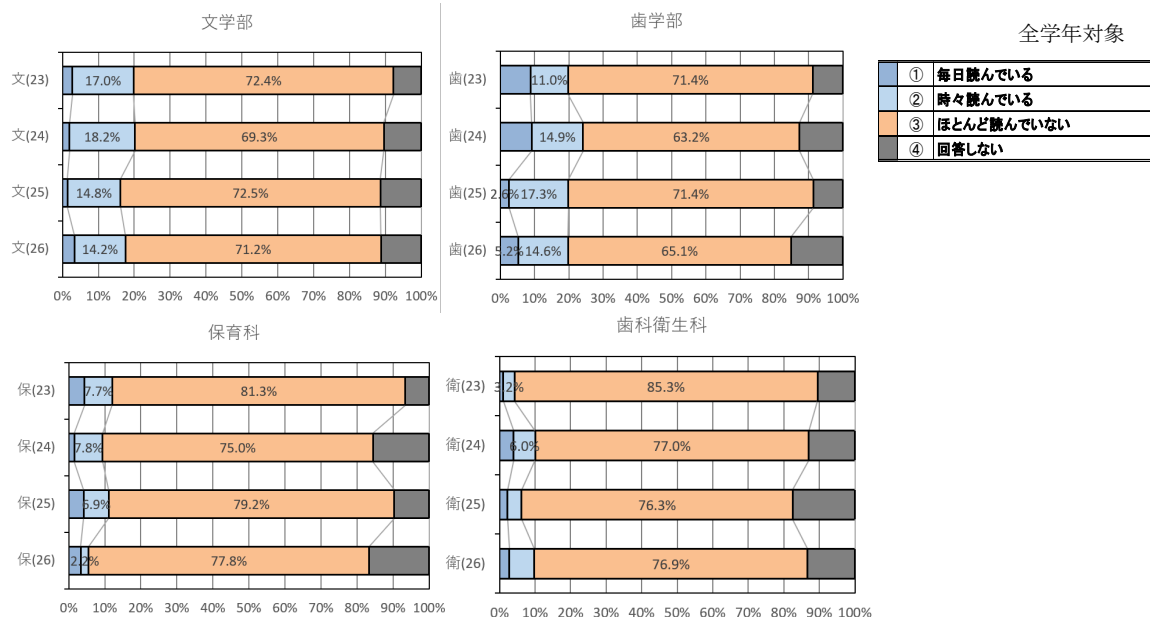
【Q3 2】一ヶ月に何冊の書籍（タブレット含む）を読みますか。（漫画、雑誌は含まない）



【Q3 3】一ヶ月に何冊の書籍（タブレット含む）を読みますか。

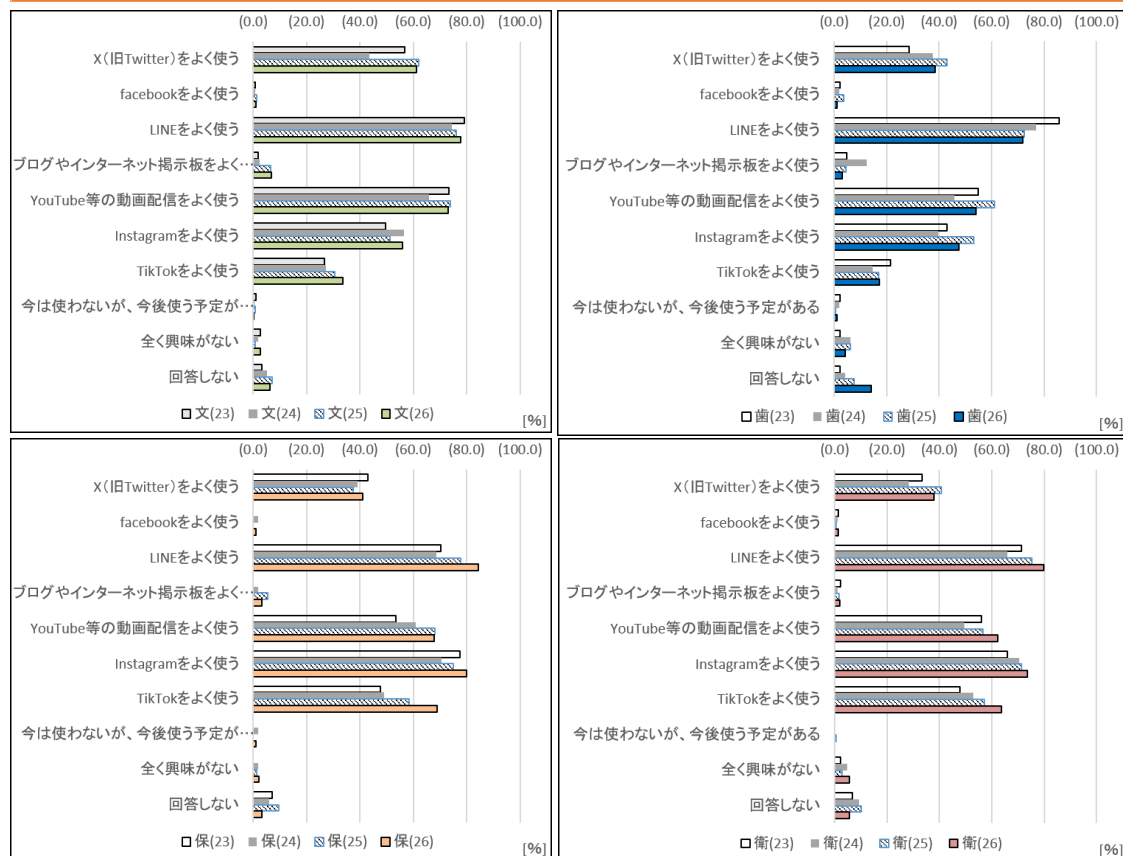


【Q3 4】新聞（紙面またはデジタル版）を読んでいますか。



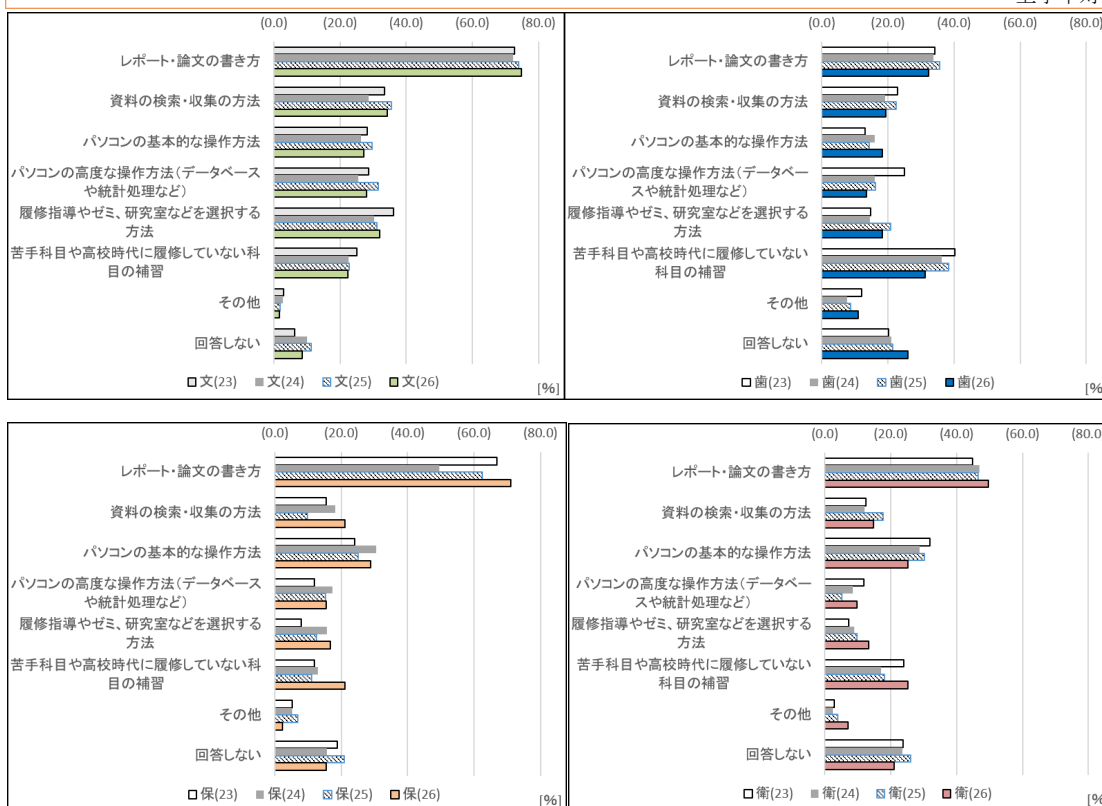
4 年間の経年比較を見ても、新聞を「ほとんど読んでいない」と回答した学生は、依然として高い割合のまま横ばいで推移している。

【Q3 5】LINE や facebook、twitter などの SNS やブログ、インターネットの掲示板を使って
いますか。（複数選択可）

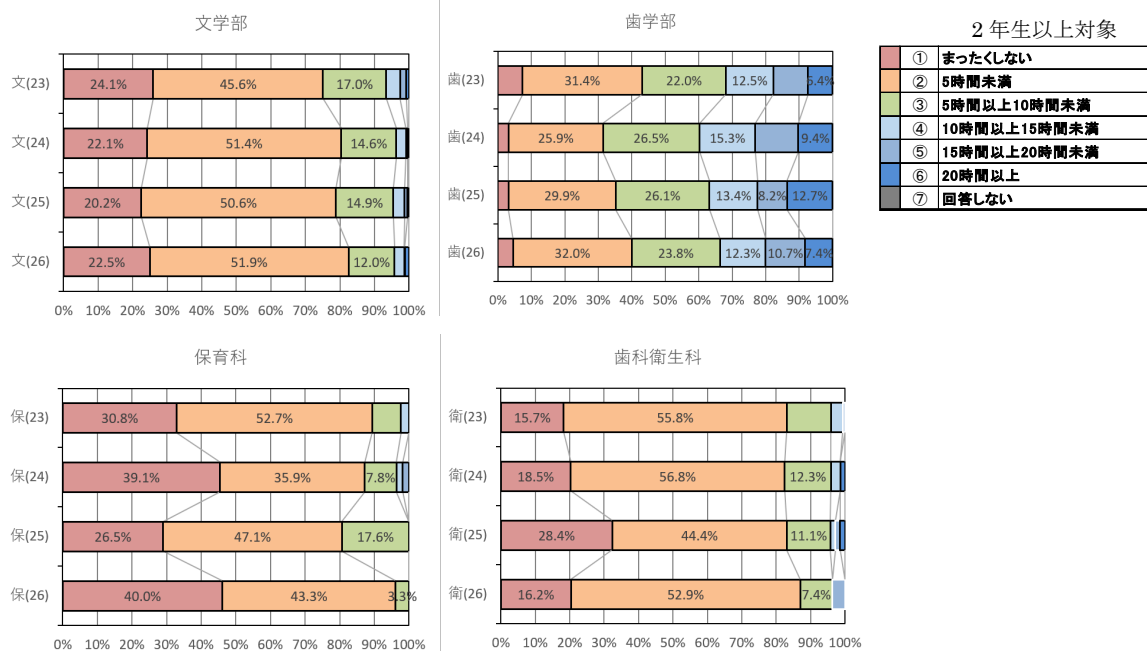


【Q3 6】大学内で学習をサポートする体制がある場合、どのような支援を受けたいですか。
（複数選択可）

全学年対象

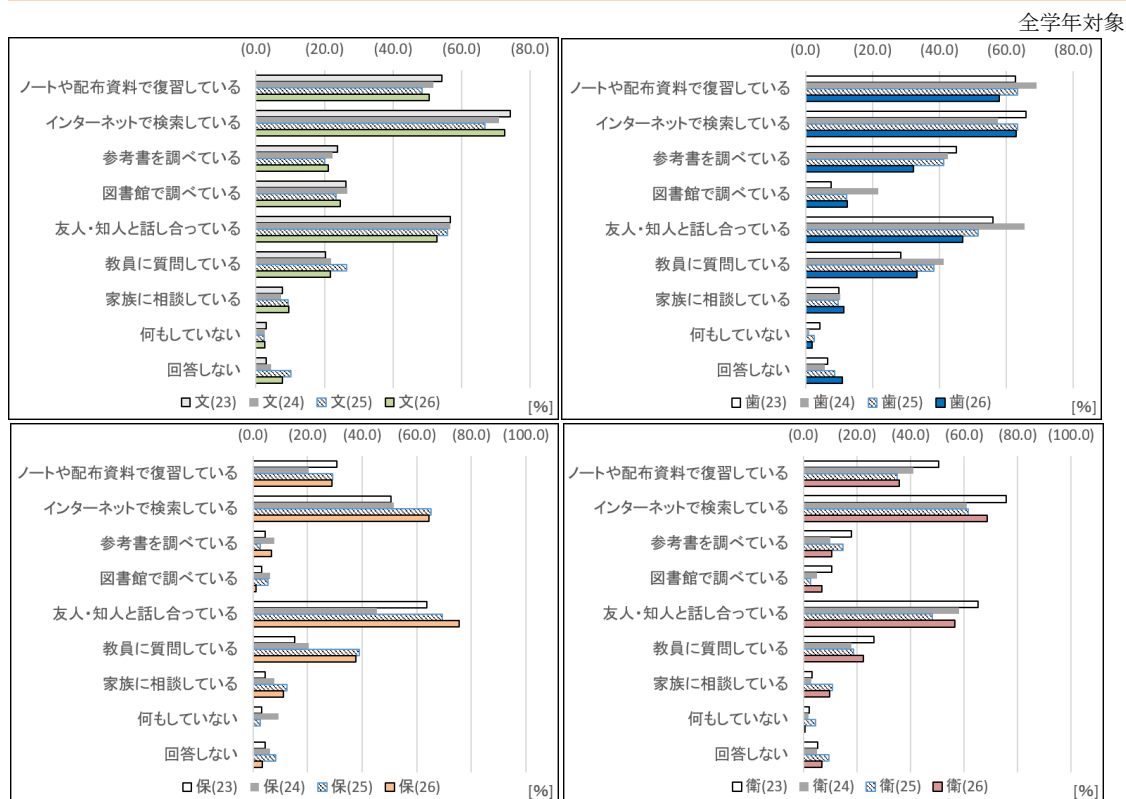


【Q3 7】授業以外で、一週間当たり何時間くらい勉強（予習・復習・課題等）しますか。

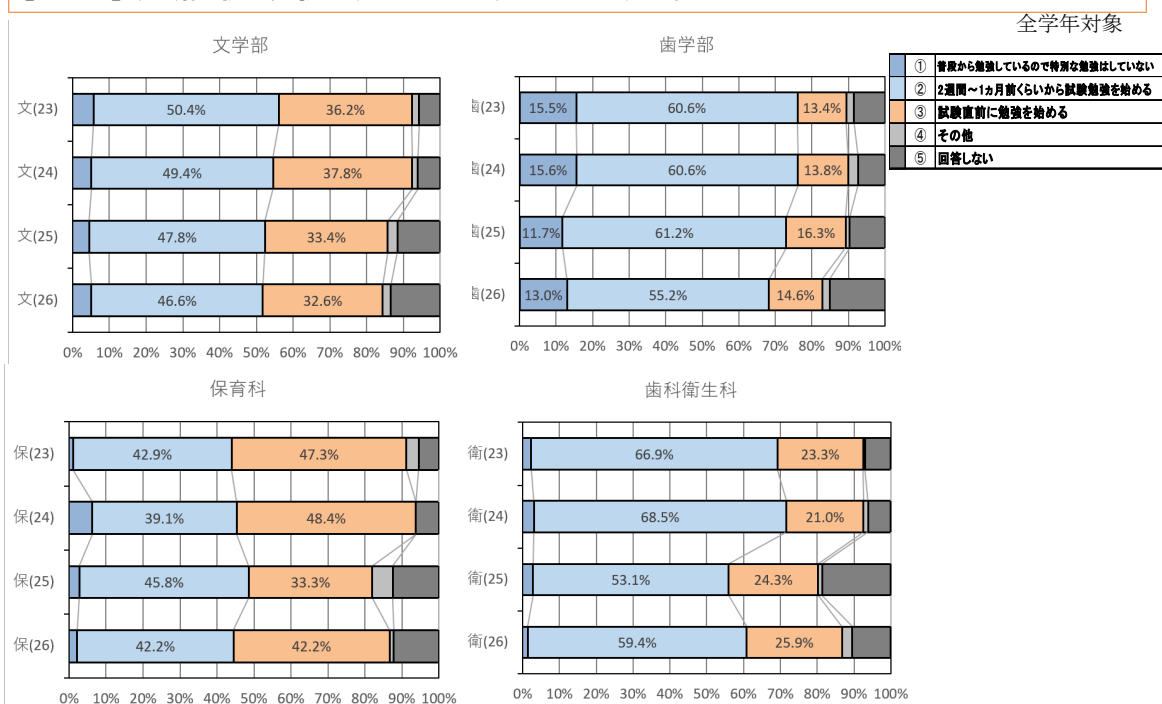


前回調査から対象を全学部・学科の 2 年生以上としたところ、「5 時間未満」と回答した学生の割合が微増となった。学習時間の確保状況は学部によって異なり、特に歯学部においては、時間外学習時間が長い学生の割合が高い傾向にある。

【Q3 8】授業で分からない事柄があった場合、どう対応していますか。（複数選択可）



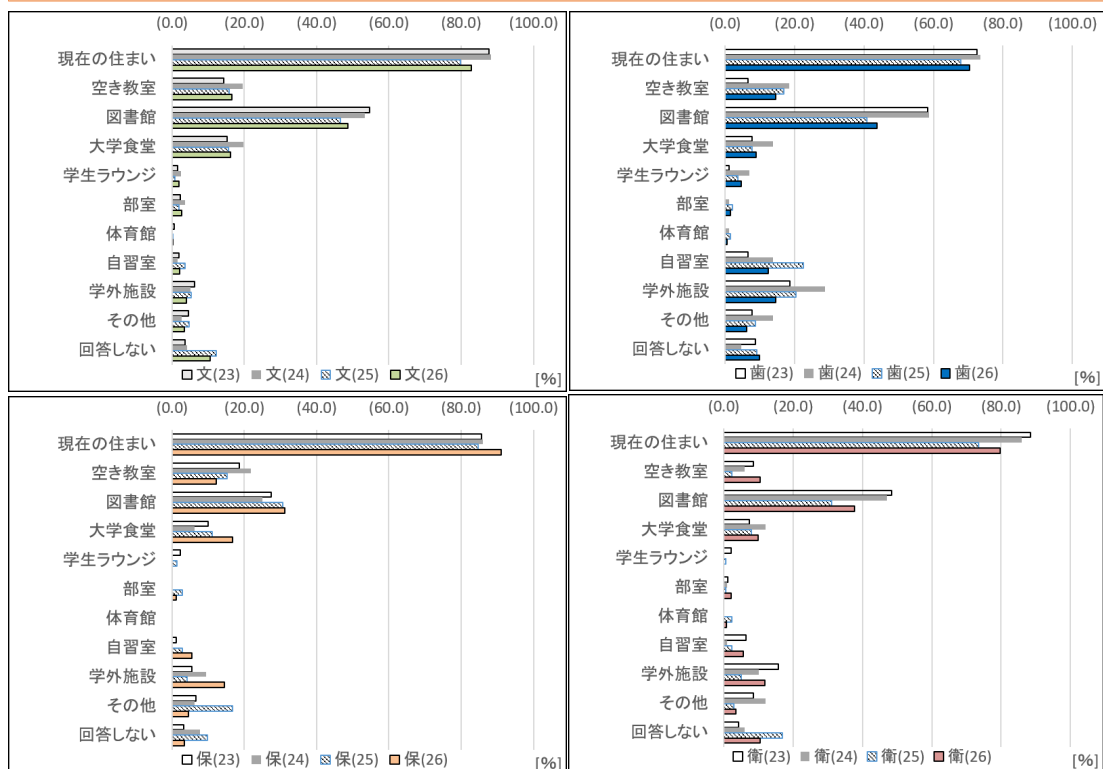
【Q3 9】定期試験の勉強は、いつから始めていますか。



前回調査から対象を全学年へ拡大した。歯学部では、「普段から勉強しているので特別な勉強はしていない」学生が増加し、計画的に学修していることがうかがえる。

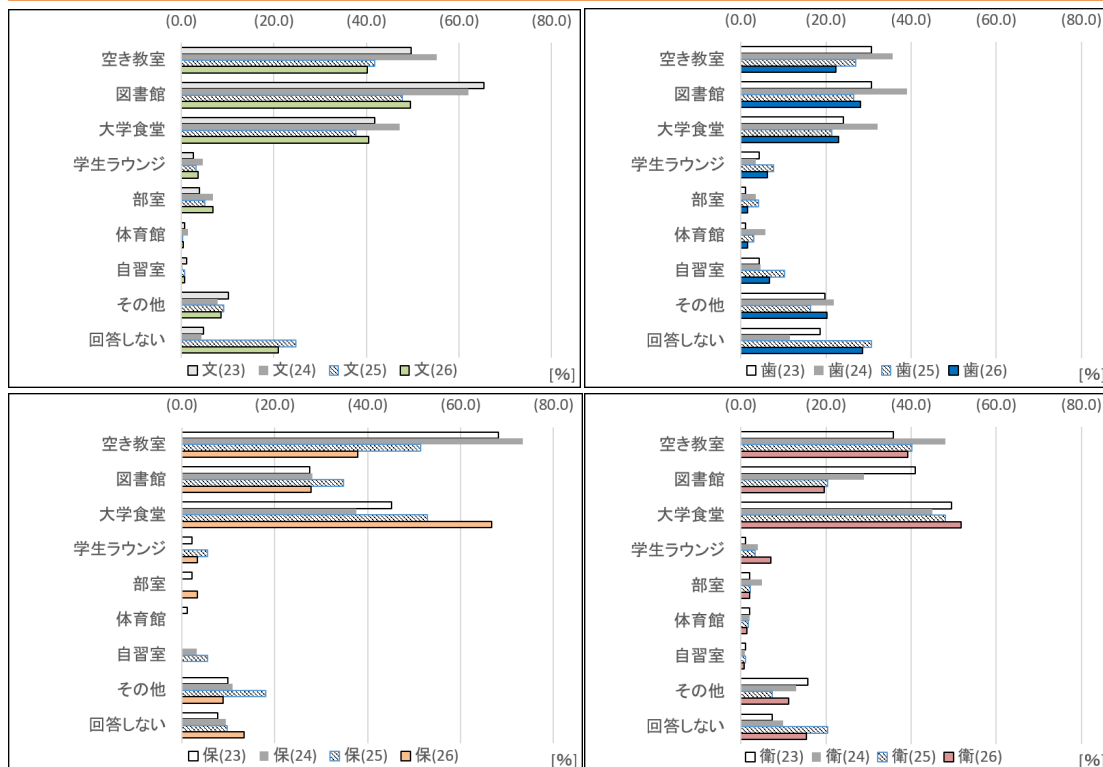
【Q40】試験勉強はどこでしていますか。（複数選択可）

全学年対象



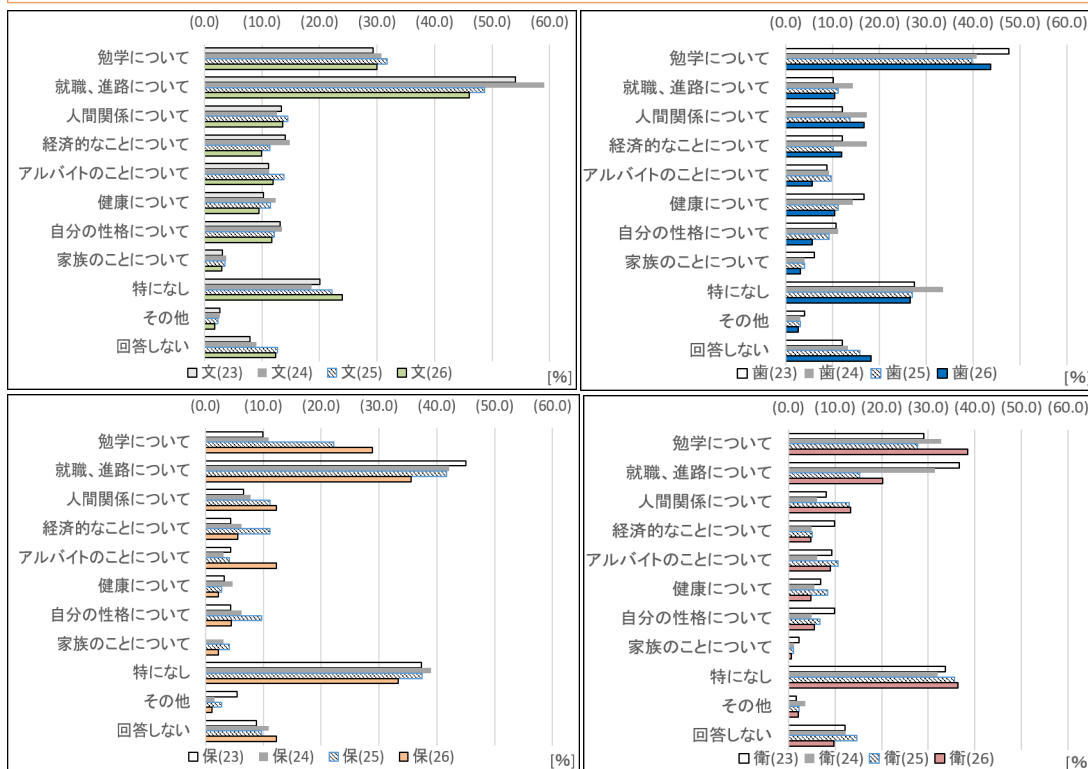
【Q41】授業時間以外は大学のどの場所で過ごしていますか。（複数選択可）

全学年対象



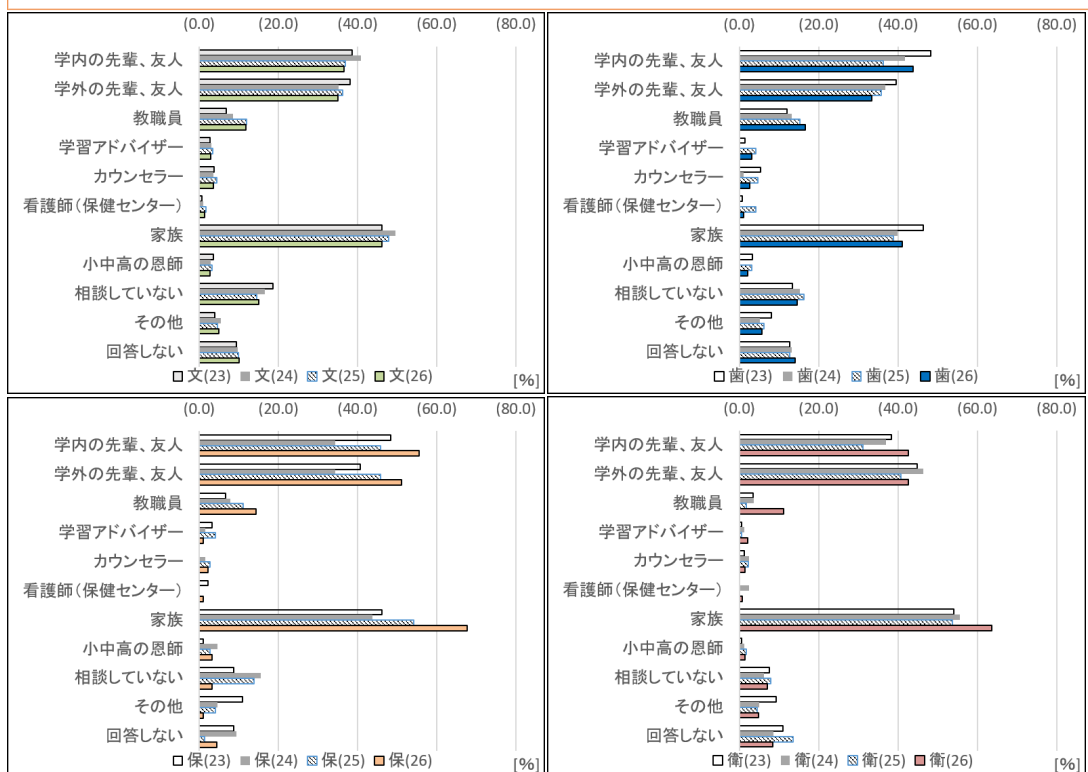
【Q4 2】困っていることはありますか。（複数選択可）

全学年対象



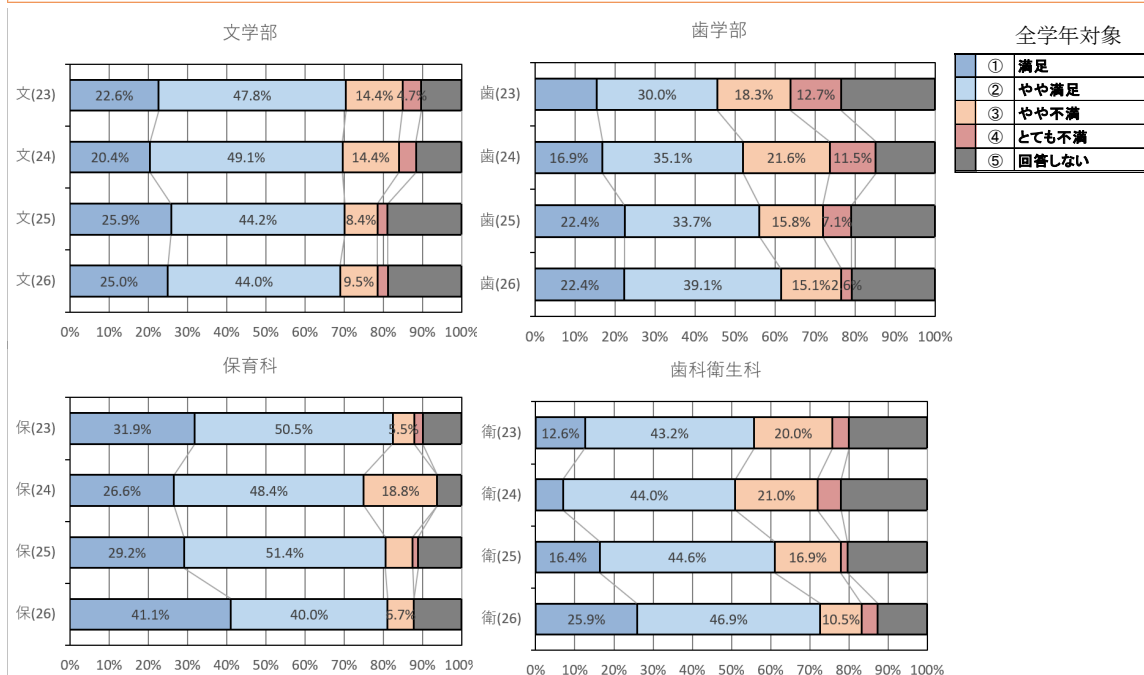
象

【Q4 3】相談事は誰にしますか。（したいですか。）（複数選択可）



経年比較を見ても、「学内外の先輩、友人」および「家族」という身近な人間関係が回答の大部分を占める状況に変化はなかった。

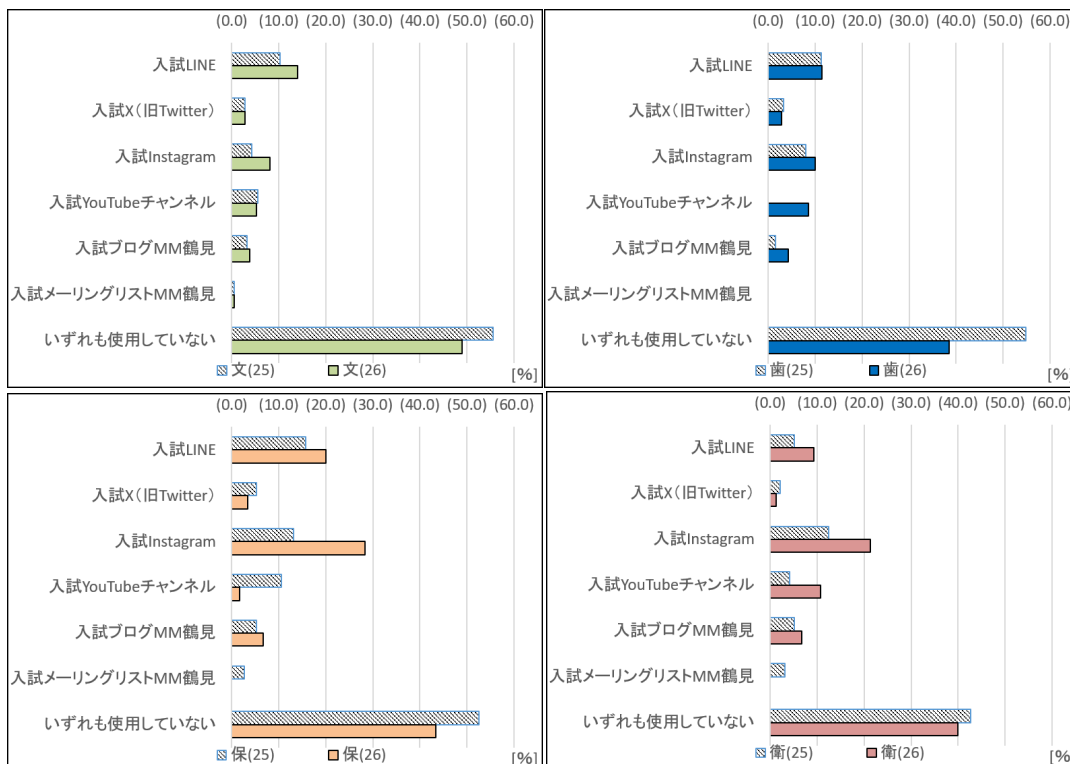
【Q 4 4】 本学に満足していますか。



対象を全学年に拡大した。本学に対する満足度は大きな変化はないが、不満についての回答はやや減少した。

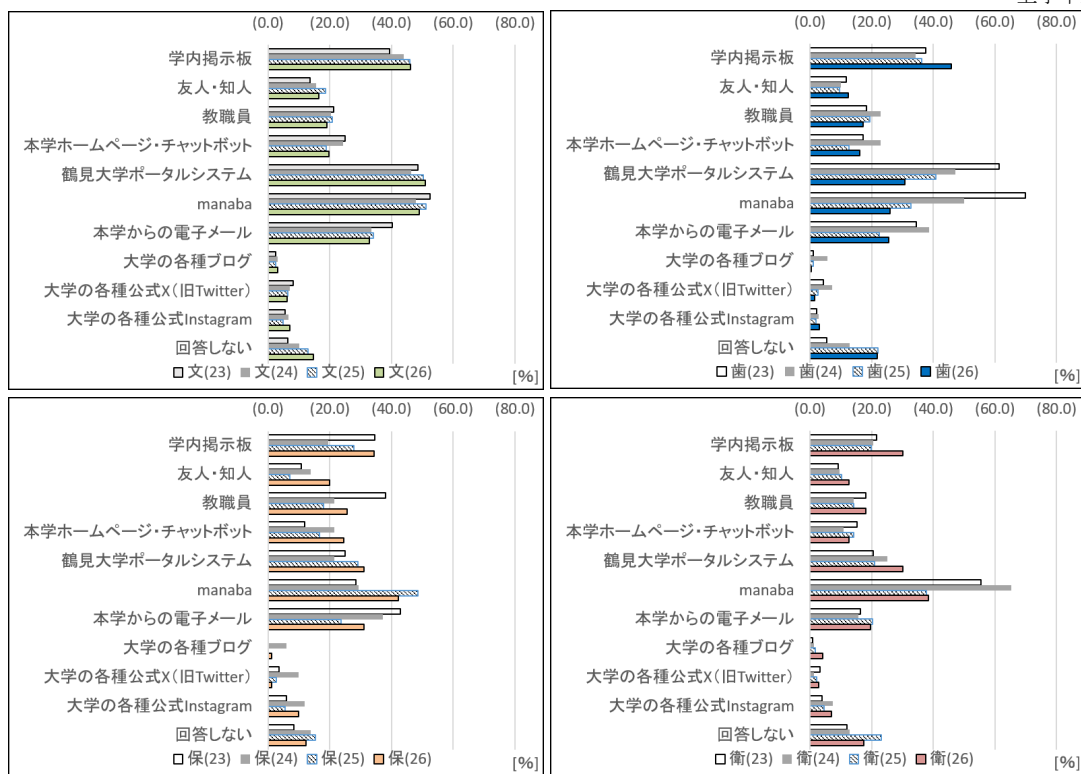
【Q 4 5】 本学受験にあたり、本学提供の SNS 等で役に立ったものをすべて選んでください。
(複数選択可)

1 年生対象



【Q4 6】大学からの情報発信は今後どのようにしてほしいですか。（複数選択可）

全学年対象



【Q47～59】それぞれの力は身についていると思いますか。

※選択肢 よく身についている：5点、 概ね身についている：4点、 まあまあ身についている：3点、
あまり身につけていない：2点、 ほとんど身につけていない：1点 の平均

設問		Q47	Q48	Q49	Q50	Q51	Q52	Q53	Q54	Q55	Q56	Q57	Q58	Q59
		「1つのものごとを複数の視点から考える力」	「自分の役割ややるべきことを認識する力」	「自己分け隔てなく思いやる心」	「意見の違いや立場の違いを理解する力」	「自分の意見を分かりやすく伝える力」	「相手の意見を丁寧に聞く力」	「物事に進んで取り組む力」	「目標を設定して確実に行動する力」	「学び続ける気持ちと姿勢」	「専門的な知識・技能を実践に活かす力」	「他人に働きかけ巻き込む力」	「現状を分析し目的や課題を明らかにする力」	「課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力」
学部・学科	学年													
文学部	1 年	3.1	3.2	3.6	3.8	2.8	3.7	3.2	2.9	3.3	3.0	2.9	3.0	2.9
	3 年	3.7	3.7	3.8	3.8	3.3	3.8	3.6	3.6	3.5	3.5	3.3	3.5	3.5
	卒業時	4.3	4.3	4.4	4.4	4.1	4.4	4.3	4.2	4.3	4.3	3.9	4.2	4.2
歯学部	1 年	3.6	3.6	3.9	3.9	3.3	4.1	3.7	3.5	3.7	3.5	3.2	3.4	3.3
	4 年	3.7	3.8	3.7	3.9	3.7	3.9	3.7	3.8	3.8	3.6	3.4	3.6	3.7
	卒業時	4.4	4.5	4.3	4.1	3.6	4.2	3.8	3.8	4.5	4.6	3.9	4.1	4.3
保育科	1 年	3.3	3.4	3.7	3.9	3.1	3.8	3.4	3.2	3.5	3.3	3.2	3.3	3.3
	卒業時	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.7	4.6	4.7	4.6	4.3	4.7	4.6
歯科衛生科	1 年	3.3	3.4	3.7	3.7	3.0	3.9	3.4	3.3	3.5	3.5	3.2	3.3	3.3
	卒業時	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	3.8	3.9	3.9

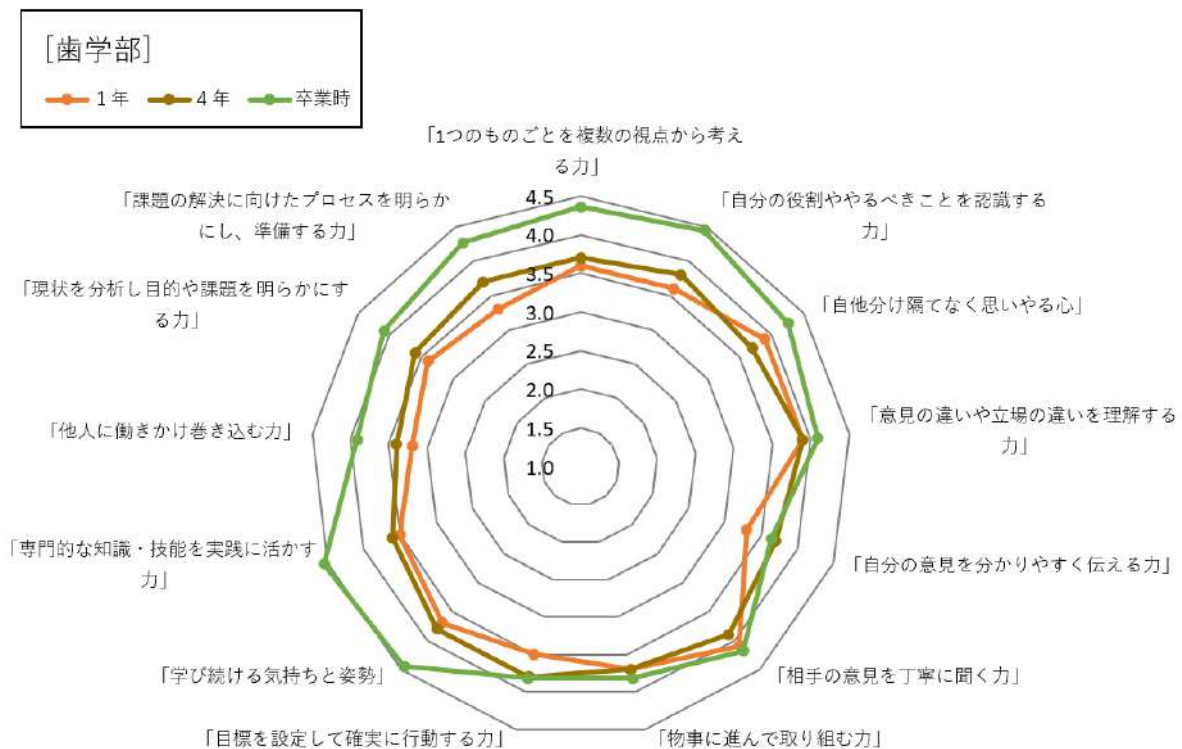
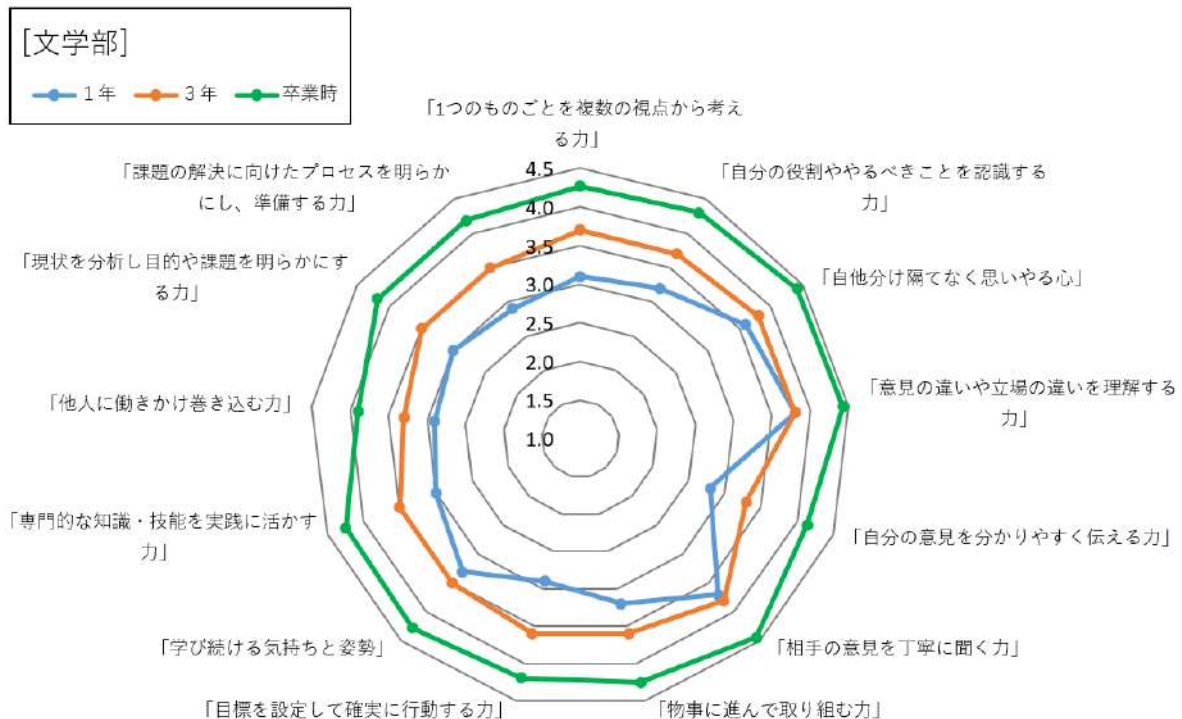
※卒業時数値：2026年3月14日実施「卒業時アンケート調査」

各設問は当年度（2026 年度）の在学生に対する「学生の学修・生活に関する調査」および前年度（2025 年度）卒業生を対象に行った「卒業時アンケート調査」での回答を数値化したものである。

各学部・学科の自己評価を比較した結果、歯学部においては「自分の意見を分かりやすく伝える力」について1年次から4年次では向上したものの、卒業時には0.1ポイント減少する結果となった。

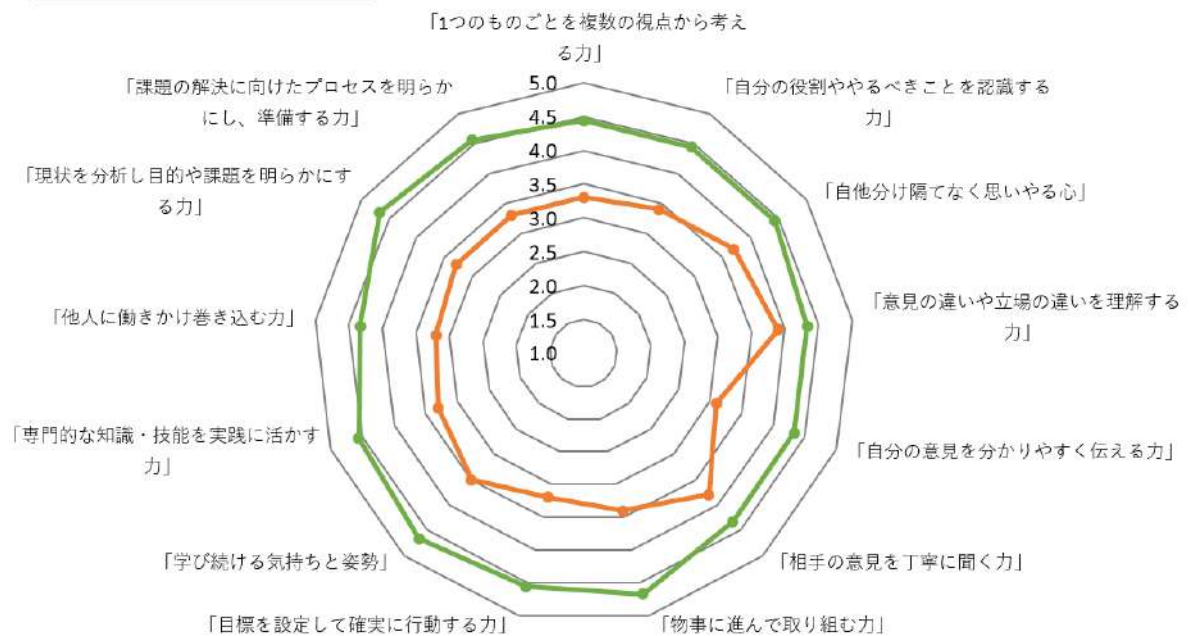
新入生では、「自分の意見を分かりやすく伝える力」の自己評価が低い傾向にあるが、進級や卒業時の数値にも表れているように、経年での成長が見られる。

各学部・学科別に「能力」に対する自己評価・自己成長感をレーダーチャートで表した。



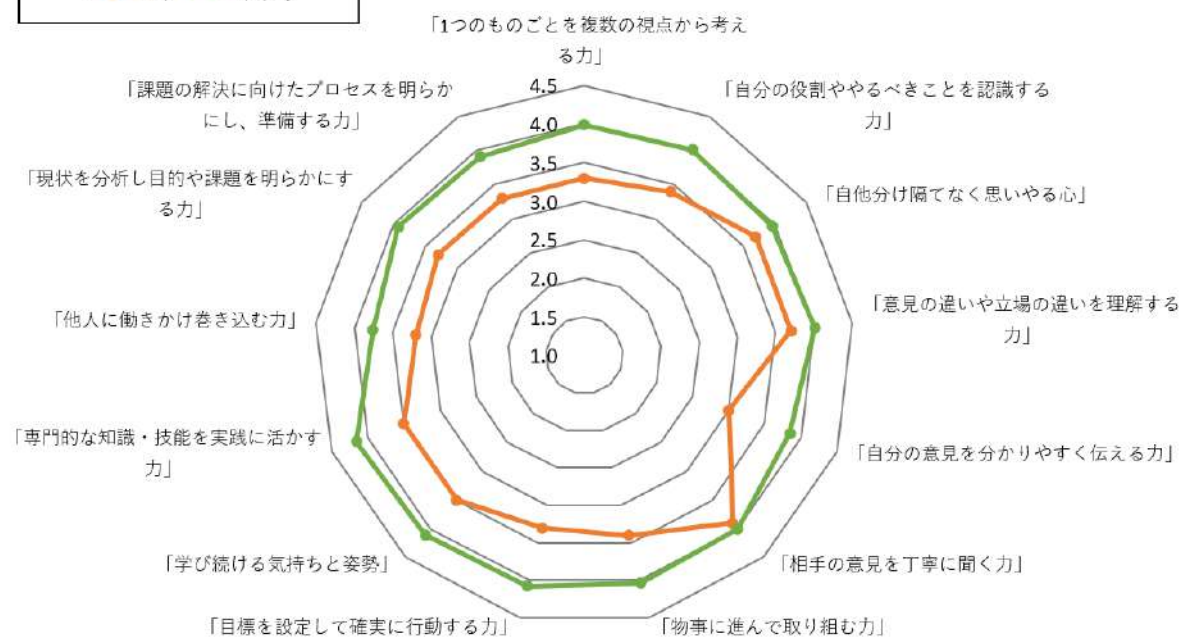
[保育科]

1 年 卒業時



[歯科衛生科]

1 年 卒業時



【Q62】鶴見大学を一言で表現するとどうなりますか。

全学年対象

前回調査から回答の対象を全学年に拡大した。

自由記述を分類すると下記ようになった。（有効回答数：1,055 件 ※特になし等は除く）

※国の「2019 年度全国学生調査（試行）」による分類方法と同じ

【回答数順】

（上位 6 項目と、各項目の中でも回答数の多いキーワードを記す）

1. 学修環境・設備、福利厚生

→「図書館」「自然」「坂」「階段」「綺麗」「駅近」「キャンパス」「広い」等

2. 總持寺・仏教

→「仏」「寺」「禅」「曹洞」「宗教」「建学の精神」等

3. 大学での学びの満足度

→「楽しい」「良い大学」「成長」「学びやすい」「安心感」等

4. 教員、事務の指導・サポートなど

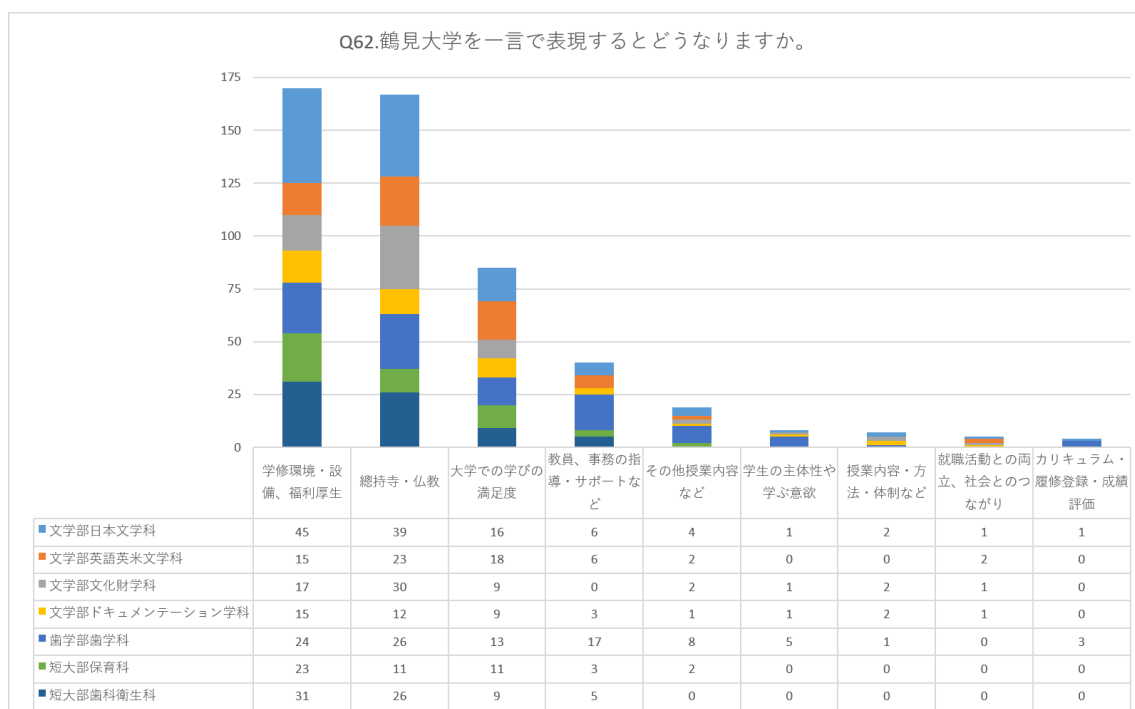
→「サポート」「優しい」「手厚い」「親身」「面倒見」等

5. その他授業内容など

→「資格」「免許」「国試（国家試験）」「実践」「実習」等

6. 学生の主体性や学ぶ意欲

→「主体性」「志」「努力」「極める」「自立」「向き合う」等



【Q63】鶴見大学を後輩に勧めたいポイントはどこですか。

全学年対象

前回調査から回答の対象を全学年に拡大した。
自由記述を分類すると下記ようになった。（有効回答数：575 件 ※特になし等は除く）
※国の「2019 年度全国学生調査（試行）」による分類方法と同じ

【回答数順】

（上位 6 項目と、各項目の中でも回答数の多いキーワードを記す）

1. 学修環境・設備・福利厚生

→図書館、蔵書、書物、学食（食堂・ラーメン・うどん）、駅近（アクセス・立地）、自然（緑・桜・空気）、綺麗、移動が楽、トイレ、コンビニ、ピアノ室、喫煙所、女子なら寮 等

2. 授業内容・方法・体制など

→授業、講義、少人数、実習、巡検、古文書、多読、基礎から丁寧、わかりやすい 等

3. 教員、事務の指導・サポートなど

→サポート、支援、親身、優しい、親切、面倒見が良い、相談、寄り添ってくれる 等

4. カリキュラム・履修登録・成績評価

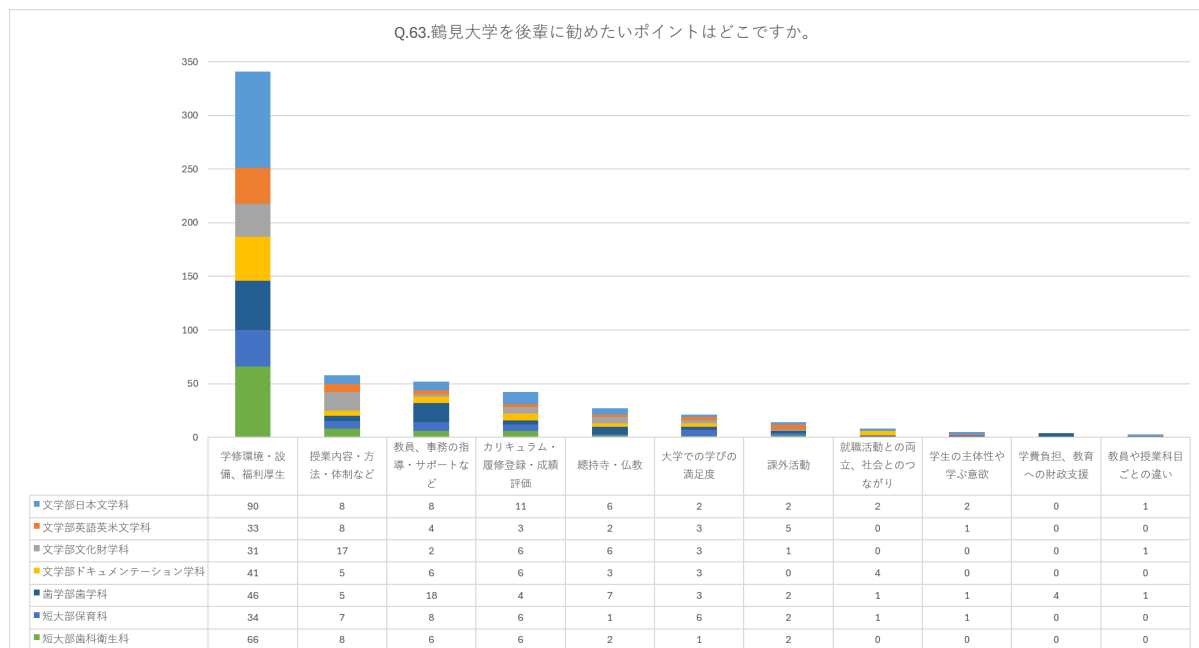
→資格、免許、教員免許、司書（資格）、カリキュラム、専門分野、選択自由度、履修、成績 等

5. 総持寺・仏教

→寺、お寺、総持寺、総持寺、坐禅（座禅）体験、神様、仏教 等

6. 大学での学びの満足度

→満足、面白い、楽しい、やりたいことに正直になれる、学びのチャンスがある 等



【Q64】鶴見大学に足りないものはなんですか。

全学年対象

前回調査から回答の対象を全学年に拡大した。

自由記述を分類すると下記ようになった。（有効回答数：575 件 ※特になし等は除く）

※国の「2019 年度全国学生調査（試行）」による分類方法と同じ

【回答数順】

（上位 6 項目と、各項目の中でも回答数の多いキーワードを記す）

1. 学修環境・設備・福利厚生

→エレベーター、エスカレーター、階段、食・購買（学食の席数・メニュー・広さ、コンビニの品揃え、自販機）通信（Wi-Fi が繋がりにくい・切れる）、トイレのウォシュレット修理・石鹸、時計、ロッカー、エアコン、自習室、キャンパスの広さ 等

2. 授業内容・方法・体制など

→情報発信や年度の連絡が遅い、窓口対応、広報 等

3. 教員、事務の指導・サポートなど

→履修登録期間、時間割の見やすさ、成績通知時期や確認方法 等

4. 学生の主体性や学ぶ意欲

→学力、知名度の低さ、生徒のやる気・意欲、マナー 等

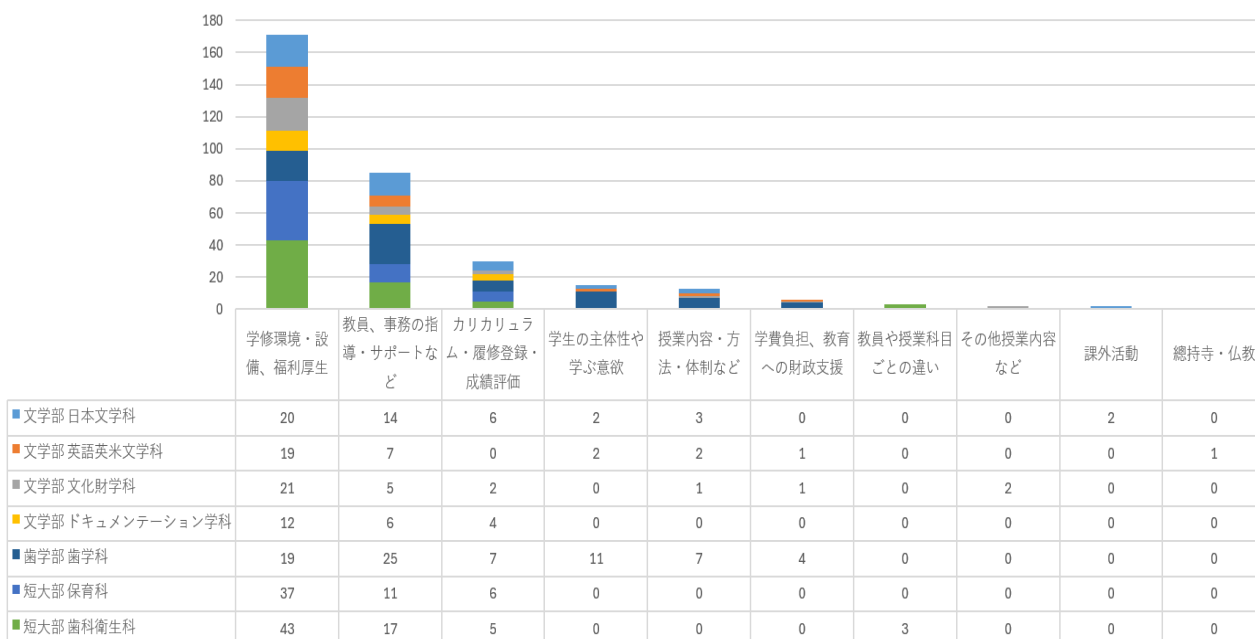
5. 授業内容・方法・体制など

→講義の質、オンライン・オンデマンド授業がない、テスト 等

6. 学費負担、教育への財政支援

→学費のサポート、留学費用の負担、学費の具体的用途、金 等

Q64.鶴見大学に足りないものはなんですか。



【Q 6 5】 本学の他に検討した進学先を教えてください。

1 年生対象

文学部では、近隣地域の主要な私立文系大学や中堅私立大学が上位を占めている。地元志向や通学の利便性を重視しつつ、同系統の文系学部・学科を幅広く並行して検討している傾向が強い。一般的な文系受験生の標準的な併願パターンを反映していると言える。

歯学部では、伝統のある同分野の私立大学が検討先の上位を占めている。国公立の同学部や他分野の医療・医学系を視野に入れている層も一定数見られ、専門職への志向が極めて高い。資格や修学内容にこだわった明確な目的意識を持つ傾向が見られた。

保育科では、地域の幼児教育・保育系の短期大学や専門学校に検討先が集中している。資格取得ができる専門性の高い分野であることに加え、自宅から通える範囲の近隣校を最優先に選択している傾向が非常に強く、地域密着型の進路選択が行われていることが分かる。

歯科衛生科では、同法人の他学部や併設の短期大学部、近隣の専門職養成校（専門学校・短期大学）への検討が中心である。対象の国家資格取得に特化した学校選びをしており、同じ医療系であっても歯学部にくらべて、より実務・実践重視の専門教育機関を選択肢として検討したことがうかがえる。

以上